

久留米工業大学

ファクトブック

2020



目次

1. 学修時間	3
(ア) 一年生	5
(イ) 上級生	7
2. 学修実態・海外渡航経験	9
(ア) 一年生	11
(イ) 上級生	18
(ウ) 海外渡航経験	25
3. 授業評価	27
4. 学修成果・単位取得状況・学位取得状況	37
(ア) 学修到達度ループリック	39
(イ) 単位取得状況	45
(ウ) 学位取得状況	46
5. 資格取得実績	47
6. 進路・就職実績	51
7. 卒業時調査	55
8. 卒業生・修了生（既卒生）調査	65
9. 卒業生の就職先企業調査	77

1.学修時間

一般社団法人大学 IR コンソーシアムの学生調査データに基づく。

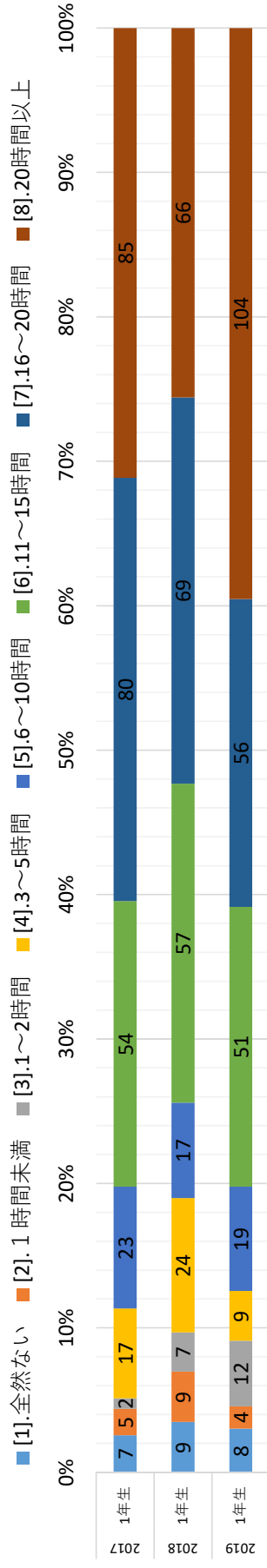
2018 年度の回収率は 73.6%（1～4 年生）。2019 年度の回収率は 1 年生 70.1%、上級生 67.1%であった。

1年生（2017～2019年度）の学修時間（一週間あたり）

[問6A]授業や実験に出る（一週間あたり）

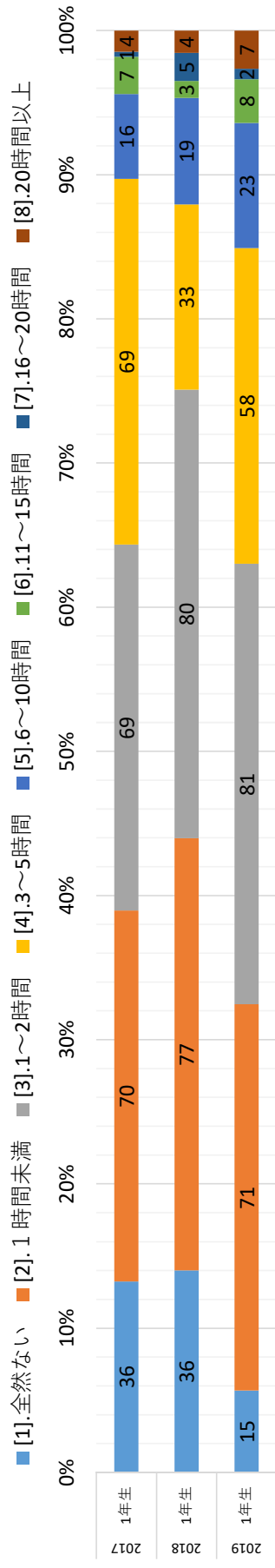
年度	学年	[1].全然ない	[2].1時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	1年生	7	5	2	17	23	54	80	85	273
2018	1年生	9	9	7	24	17	57	69	66	258
2019	1年生	8	4	12	9	19	51	56	104	263

[問6B]の結果のように、予習復習時間が「全然ない」と回答する学生が、年々減っている様子である。



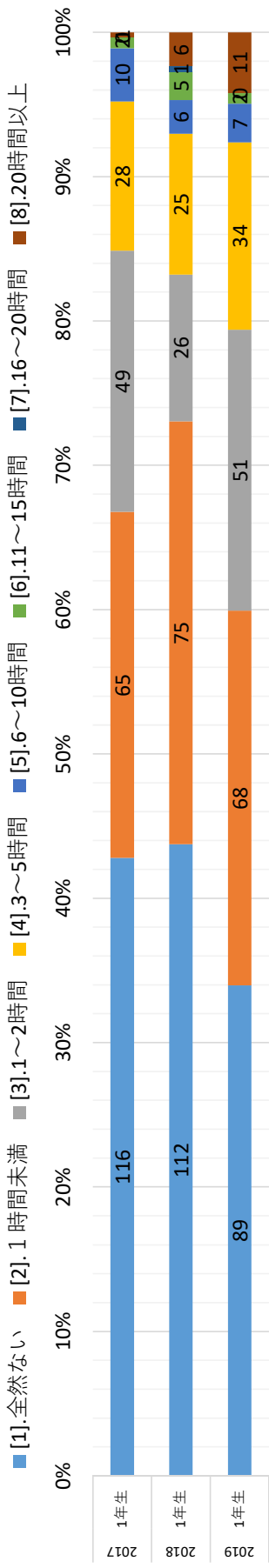
[問6B]授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする（一週間あたり）

年度	学年	[1].全然ない	[2].1時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	1年生	36	70	69	69	16	7	1	4	272
2018	1年生	36	77	80	33	19	3	5	4	257
2019	1年生	15	71	81	58	23	8	2	7	265



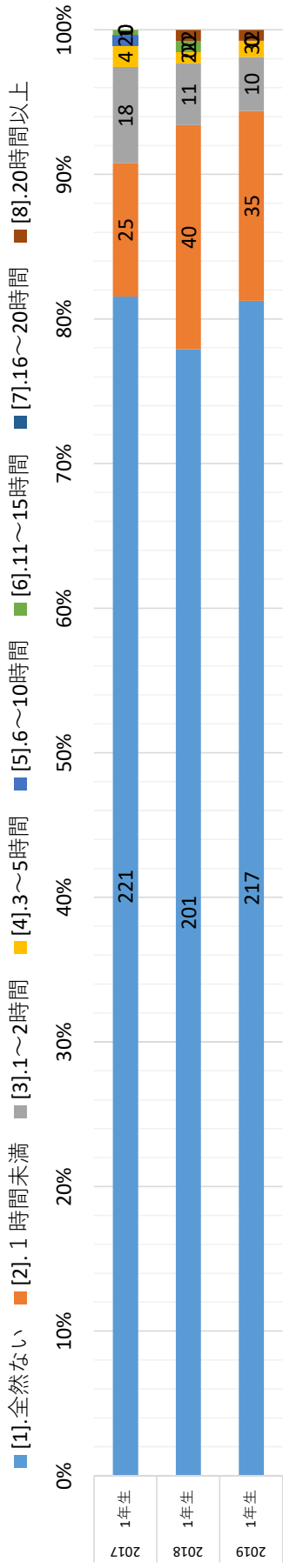
[問6C]授業時間外に、授業に関連しない勉強をする（一週間あたり）

年度	学年	[1].全然ない	[2].1 時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	1年生	116	65	49	28	10	2	0	1	271
2018	1年生	112	75	26	25	6	5	1	6	256
2019	1年生	89	68	51	34	7	2	0	11	262



[問6D]オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する（一週間あたり）

年度	学年	[1].全然ない	[2].1 時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	1年生	221	25	18	4	2	1	0	0	271
2018	1年生	201	40	11	2	0	2	0	2	258
2019	1年生	217	35	10	3	0	0	0	2	267

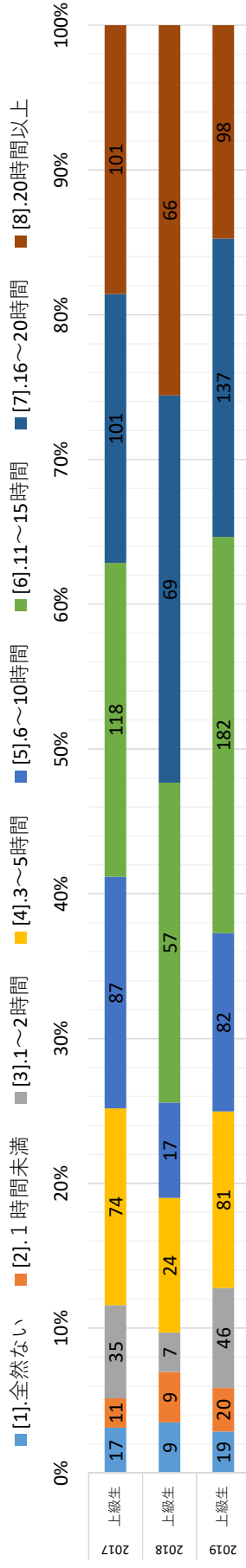


上級生（2017～2019年度）の学修時間（一週間あたり）

[問6A]授業や実験に出る（一週間あたり）

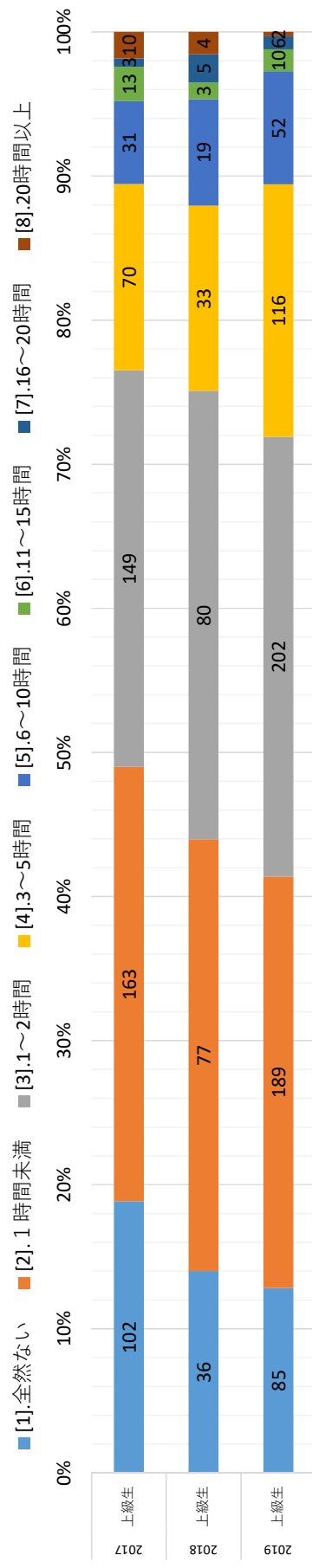
[問6B]の結果のように、予習復習時間が「全然ない」と回答する学生が、年々減っている様子である。

年度	学年	[1].全然ない	[2].1時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	上級生	17	11	35	74	87	118	101	101	544
2018	上級生	9	9	7	24	17	57	69	66	258
2019	上級生	19	20	46	81	82	182	137	98	665



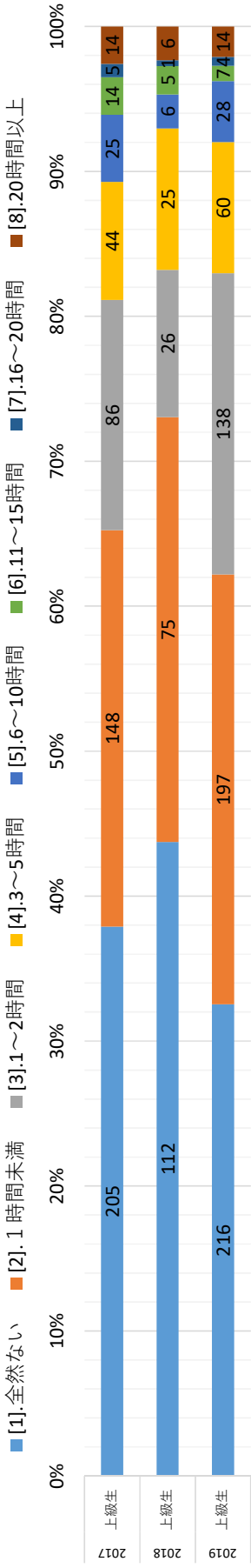
[問6B]授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする（一週間あたり）

年度	学年	[1].全然ない	[2].1時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	上級生	102	163	149	70	31	13	3	10	541
2018	上級生	36	77	80	33	19	3	5	4	257
2019	上級生	85	189	202	116	52	10	6	2	662



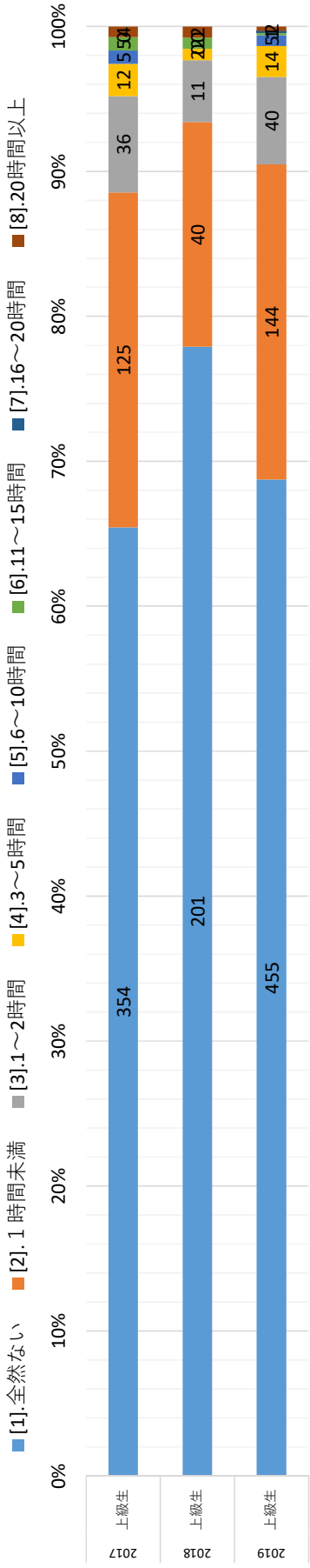
[問6C]授業時間外に、授業に関連しない勉強をする（一週間あたり）

年度	学年	[1].全然ない	[2].1時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	上級生	205	148	86	44	25	14	5	14	541
2018	上級生	112	75	26	25	6	5	1	6	256
2019	上級生	216	197	138	60	28	7	4	14	664



[問6D]オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する（一週間あたり）

年度	学年	[1].全然ない	[2].1時間未満	[3].1～2時間	[4].3～5時間	[5].6～10時間	[6].11～15時間	[7].16～20時間	[8].20時間以上	回答者数
2017	上級生	354	125	36	12	5	5	0	4	541
2018	上級生	201	40	11	2	0	2	0	2	258
2019	上級生	455	144	40	14	5	1	1	2	662



2.学修実態

海外渡航経験

一般社団法人大学 IR コンソーシアムの学生調査データに基づく。

2018 年度の回収率は 73.6%（1～4 年生）。2019 年度の回収率は 1 年生 70.1%、上級生 67.1%であった。

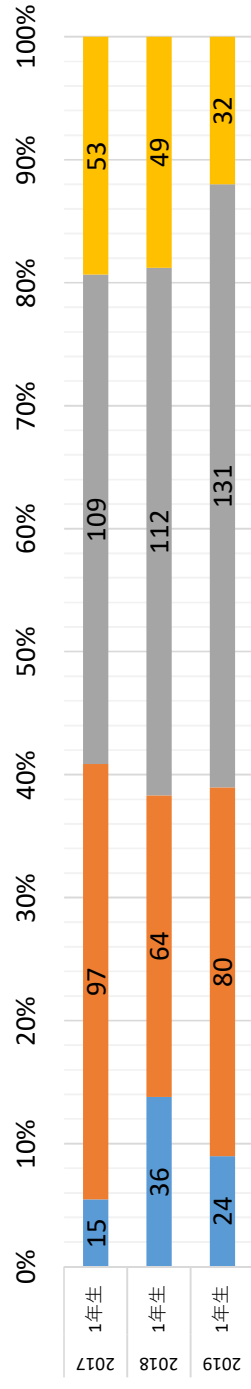
本学において留学者数は少なく、データが無いので、海外渡航経験のデータをファクトブックに採用している。

1年生（2017～2019年度）の学修実態

[問4A]実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	15	97	109	53	274
2018	1年生	36	64	112	49	261
2019	1年生	24	80	131	32	267

■ [1]まったくなかった ■ [2]あまりなかった ■ [3]ときどきあった ■ [4]ひんぱんにあった

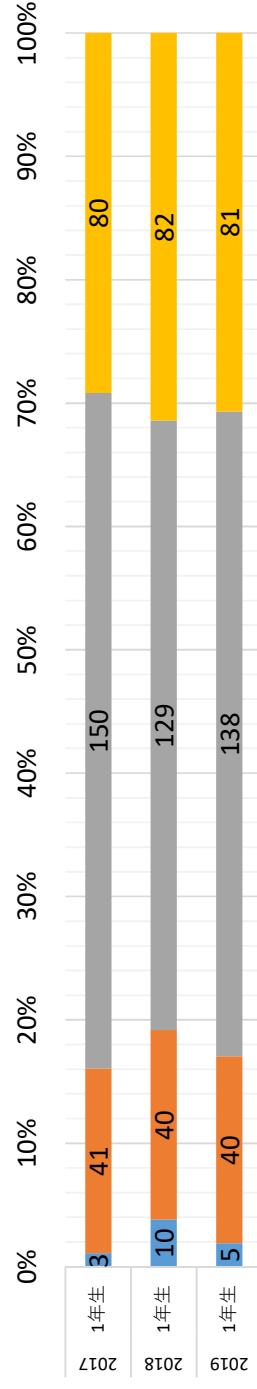


「[問4H] 学生が自分の考えや研究を発表する」、「[問4I] 授業中に学生同士が議論をする」などにおいて、その機会が年々増えている様子である。

[問4B] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ

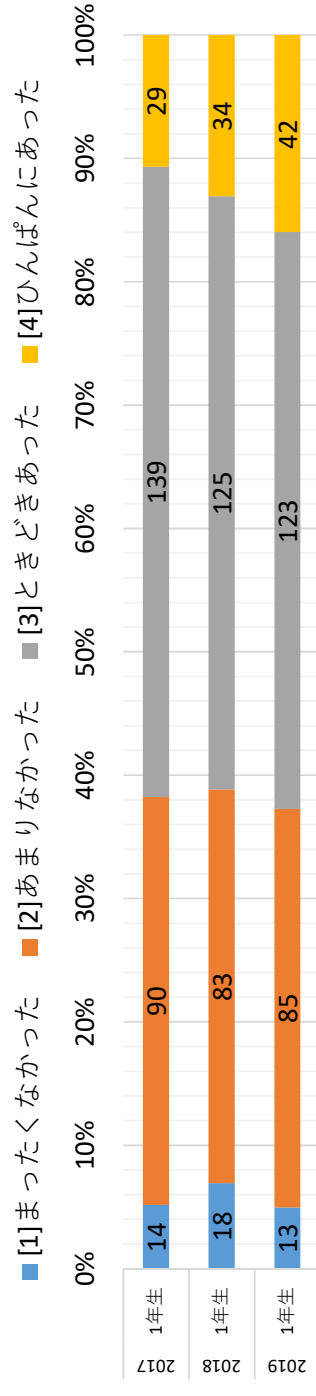
年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	3	41	150	80	274
2018	1年生	10	40	129	82	261
2019	1年生	5	40	138	81	264

■ [1]まったくなかった ■ [2]あまりなかった ■ [3]ときどきあった ■ [4]ひんぱんにあった



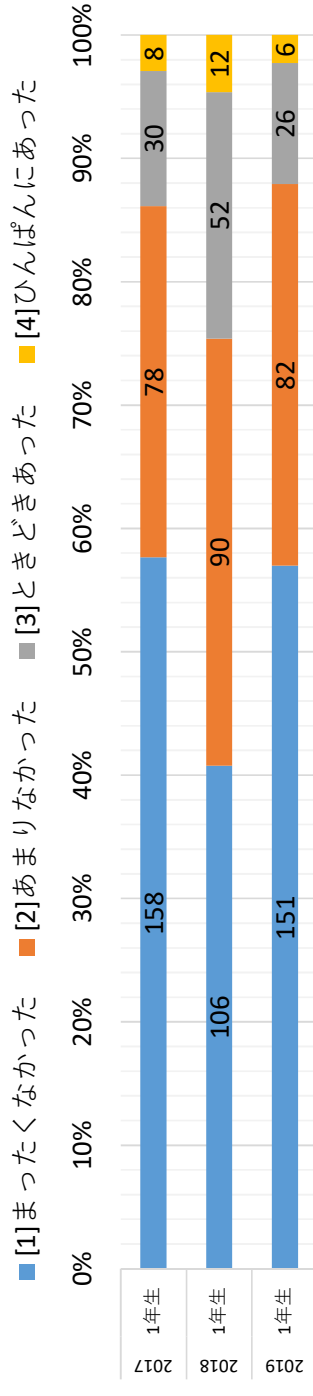
[問4C]授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	14	90	139	29	272
2018	1年生	18	83	125	34	260
2019	1年生	13	85	123	42	263



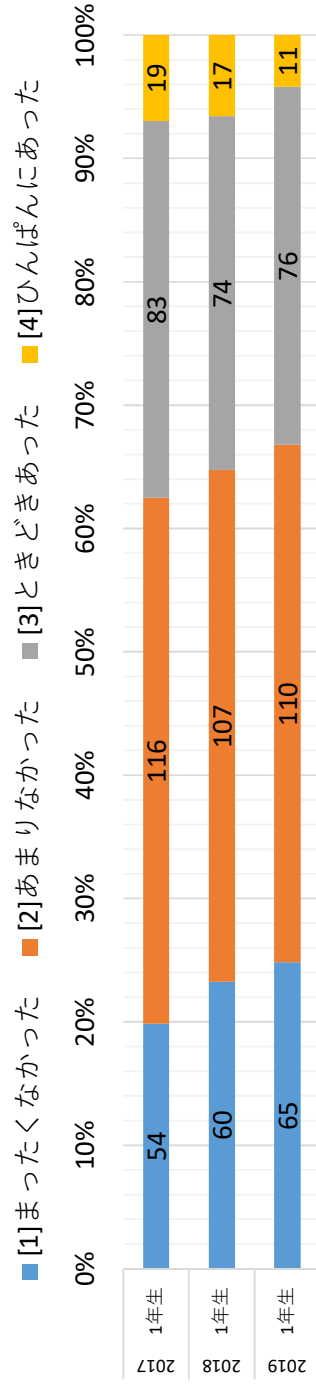
[問4D]授業の一環でボランティア活動をする

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	158	78	30	8	274
2018	1年生	106	90	52	12	260
2019	1年生	151	82	26	6	265



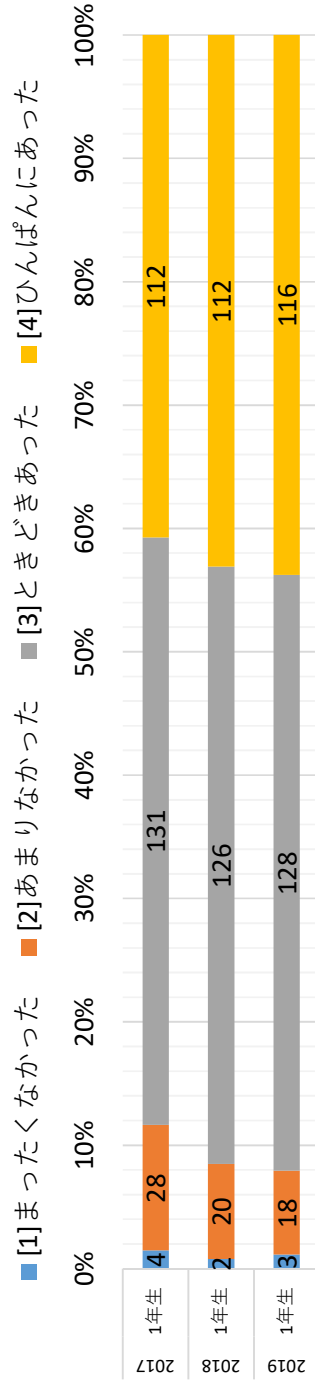
[問4E]学生自身が文献や資料を調べる

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	54	116	83	19	272
2018	1年生	60	107	74	17	258
2019	1年生	65	110	76	11	262



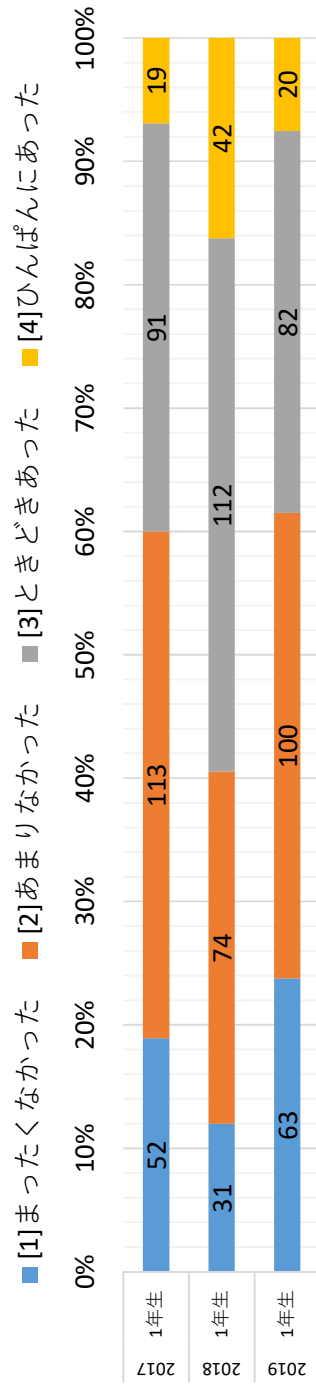
[問4F]定期的に小テストやレポートが課される

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	4	28	131	112	275
2018	1年生	2	20	126	112	260
2019	1年生	3	18	128	116	265



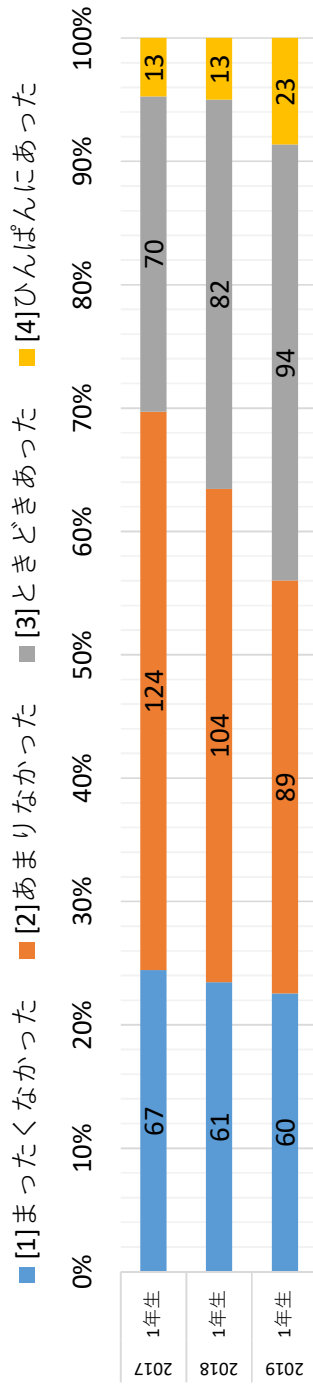
[問4G]教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	52	113	91	19	275
2018	1年生	31	74	112	42	259
2019	1年生	63	100	82	20	265



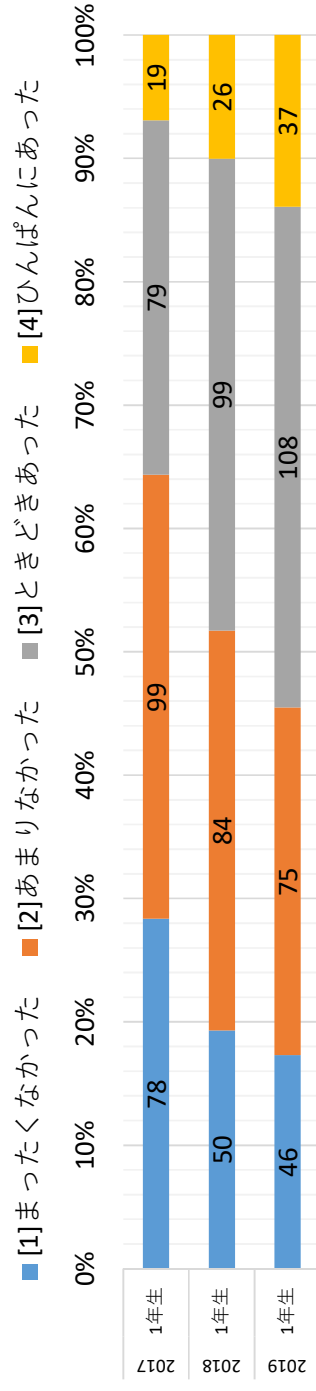
[問4H]学生が自分の考えや研究を発表する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	67	124	70	13	274
2018	1年生	61	104	82	13	260
2019	1年生	60	89	94	23	266



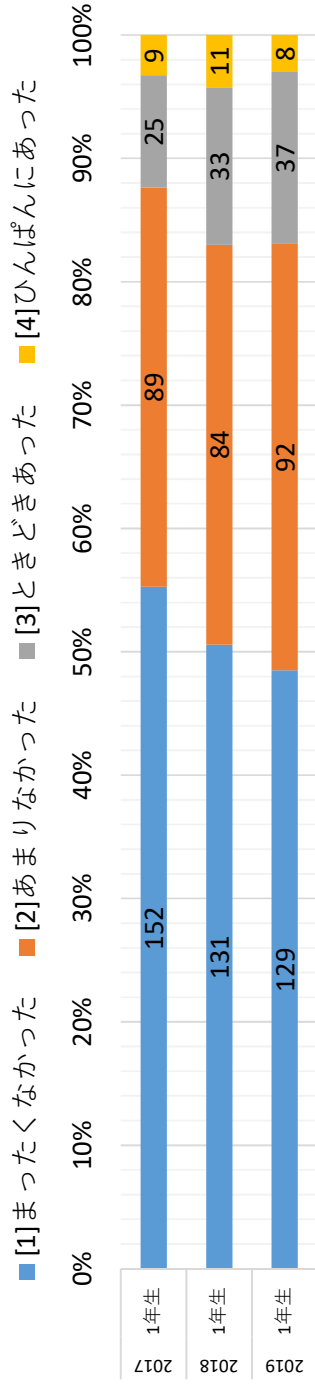
[問4I]授業中に学生同士が議論をする

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	78	99	79	19	275
2018	1年生	50	84	99	26	259
2019	1年生	46	75	108	37	266



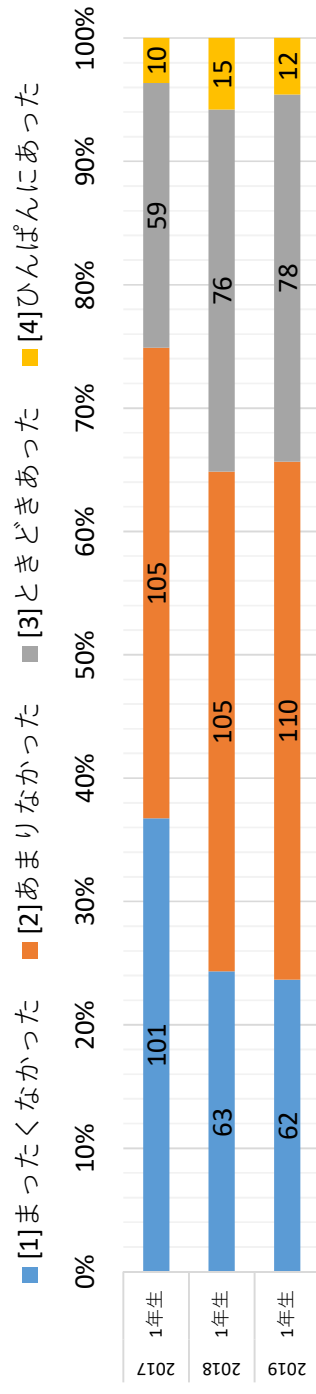
[問4J]授業で検討するテーマを学生が設定する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	152	89	25	9	275
2018	1年生	131	84	33	11	259
2019	1年生	129	92	37	8	266



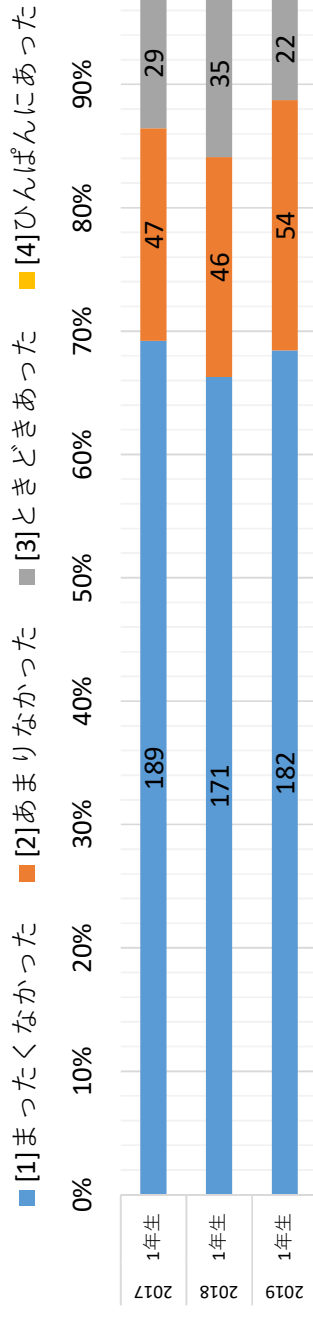
[問4K]授業の進め方に学生の意見が取り入れられる

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	101	105	59	10	275
2018	1年生	63	105	76	15	259
2019	1年生	62	110	78	12	262



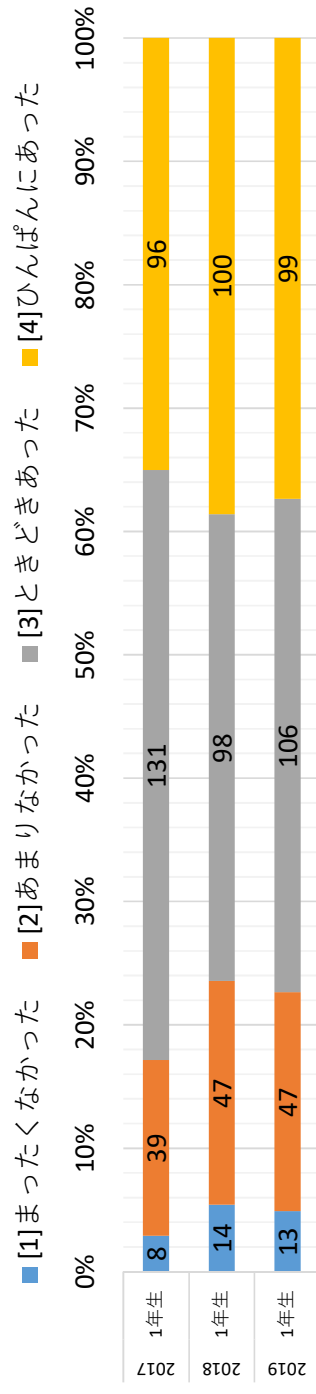
[問4L]取りたい授業を履修登録できなかった

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	189	47	29	8	273
2018	1年生	171	46	35	6	258
2019	1年生	182	54	22	8	266



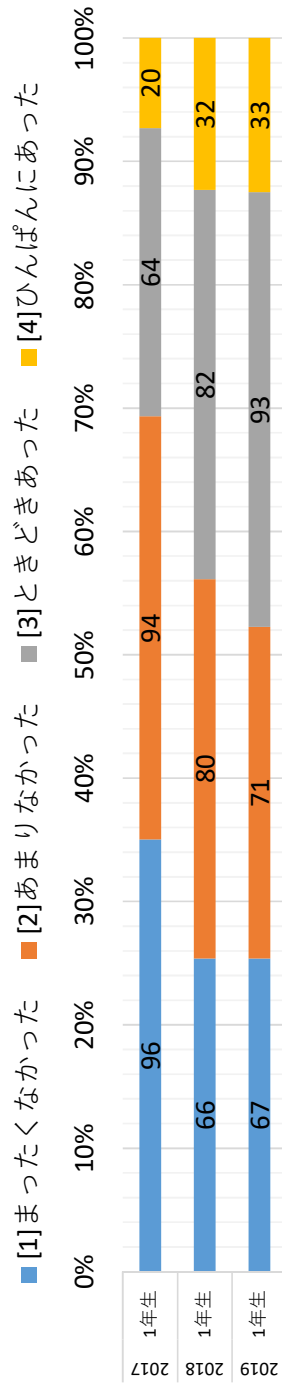
[問4M]出席することが重視される

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	8	39	131	96	274
2018	1年生	14	47	98	100	259
2019	1年生	13	47	106	99	265



[問4N]TAやSAなどの授業補助者から補助を受ける

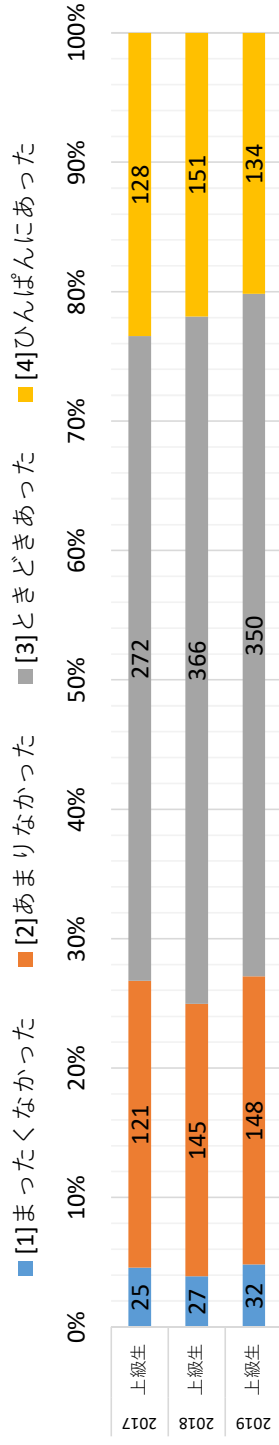
年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	1年生	96	94	64	20	274
2018	1年生	66	80	82	32	260
2019	1年生	67	71	93	33	264



上級生（2017～2019年度）の学修実態

[問4A]実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

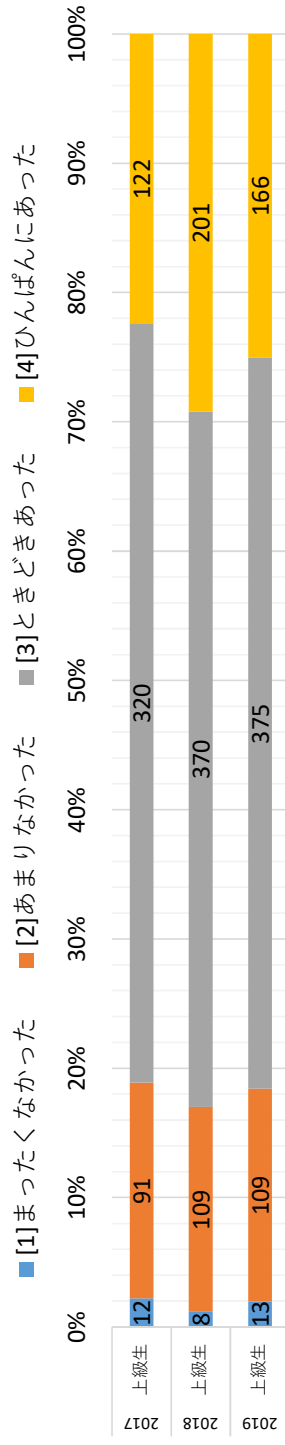
年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	25	121	272	128	546
2018	上級生	27	145	366	151	689
2019	上級生	32	148	350	134	664



「[問4H] 学生が自分の考えや研究を発表する」、「[問4I] 授業中に学生同士が議論をする」、「[問4J] 授業で検討するテーマを学生が設定する」などにおいて、その機会が年々増えている様子である。

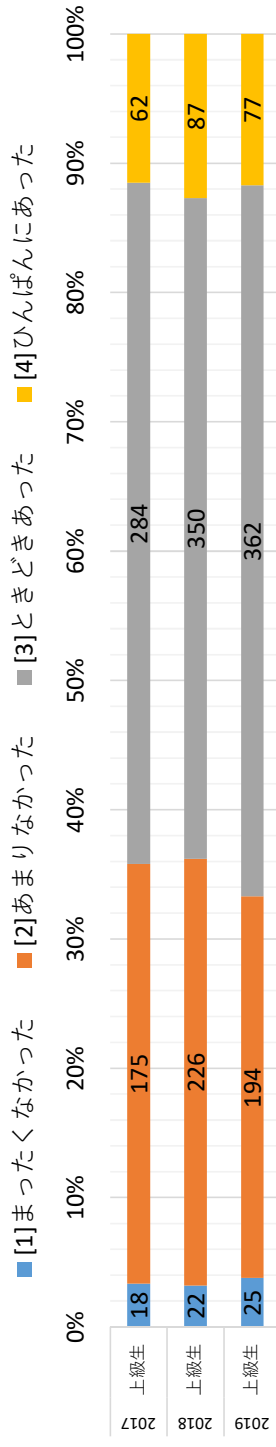
[問4B]仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	12	91	320	122	545
2018	上級生	8	109	370	201	688
2019	上級生	13	109	375	166	663



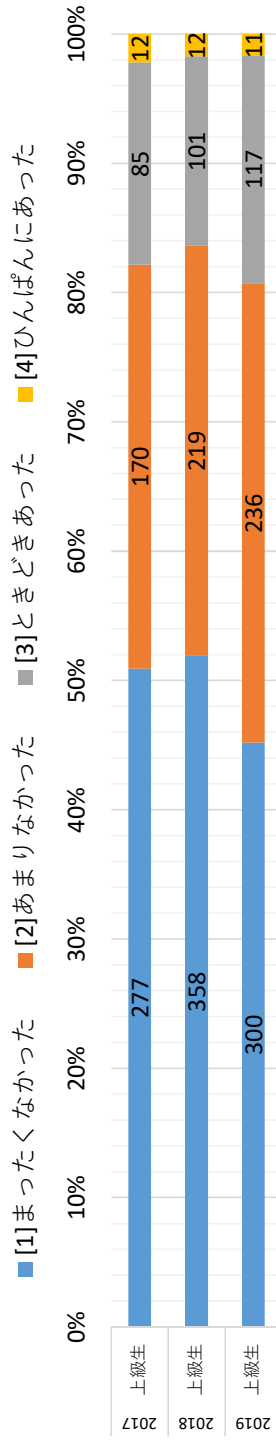
[問4C]授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	18	175	284	62	539
2018	上級生	22	226	350	87	685
2019	上級生	25	194	362	77	658



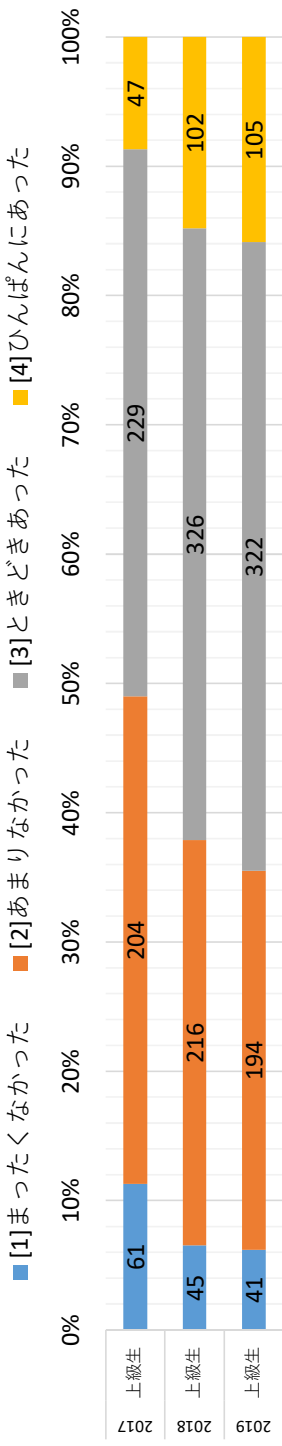
[問4D]授業の一環でボランティア活動をする

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	277	170	85	12	544
2018	上級生	358	219	101	12	690
2019	上級生	300	236	117	11	664



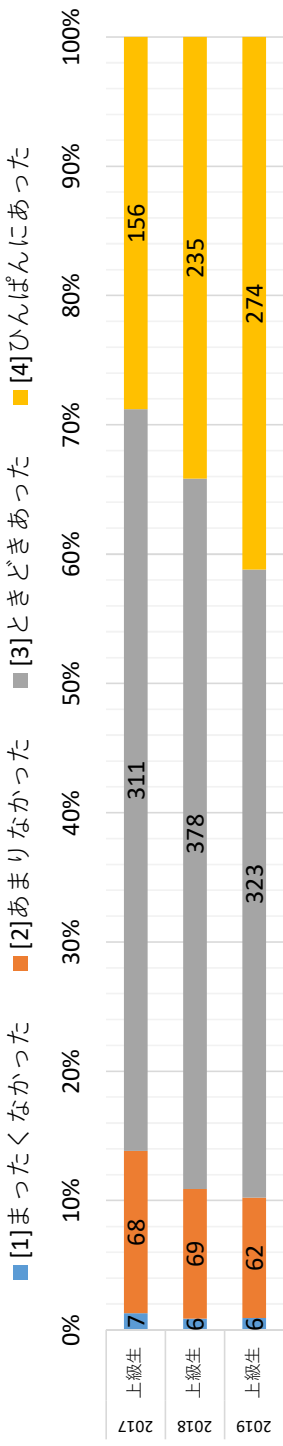
[問4E]学生自身が文献や資料を調べる

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	61	204	229	47	541
2018	上級生	45	216	326	102	689
2019	上級生	41	194	322	105	662



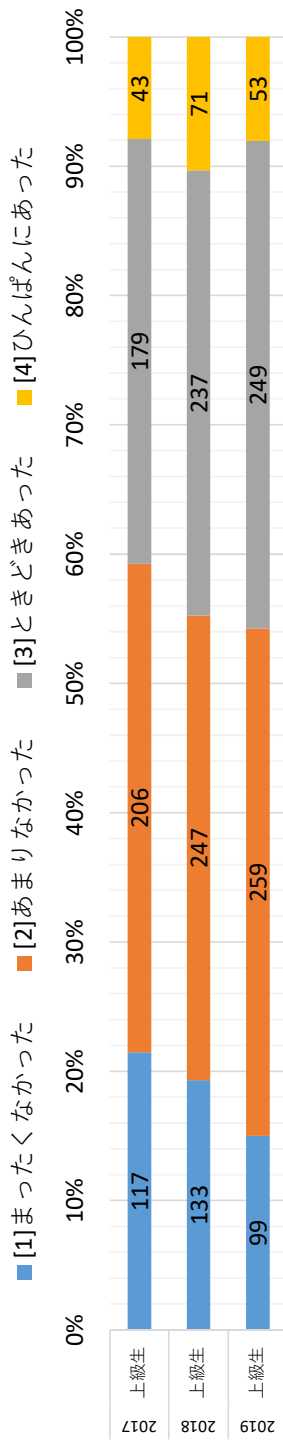
[問4F]定期的に小テストやレポートが課される

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	7	68	311	156	542
2018	上級生	6	69	378	235	688
2019	上級生	6	62	323	274	665



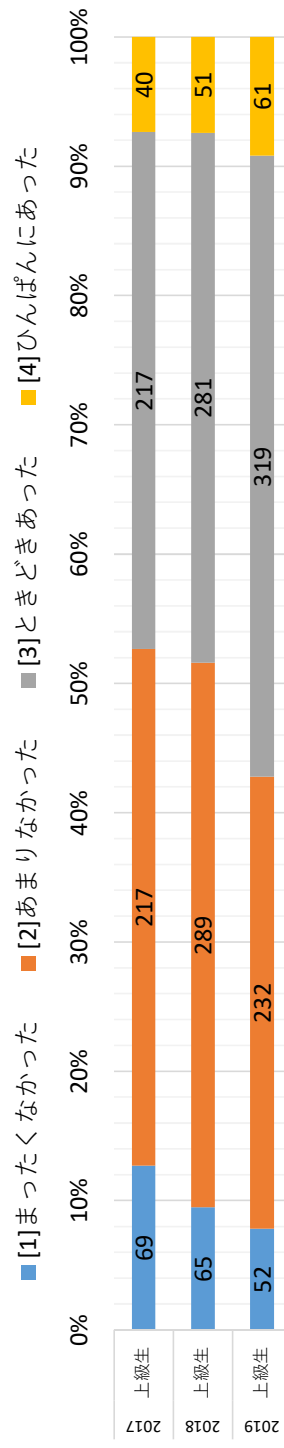
[問4G]教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんばんにあった	回答者数
2017	上級生	117	206	179	43	545
2018	上級生	133	247	237	71	688
2019	上級生	99	259	249	53	660



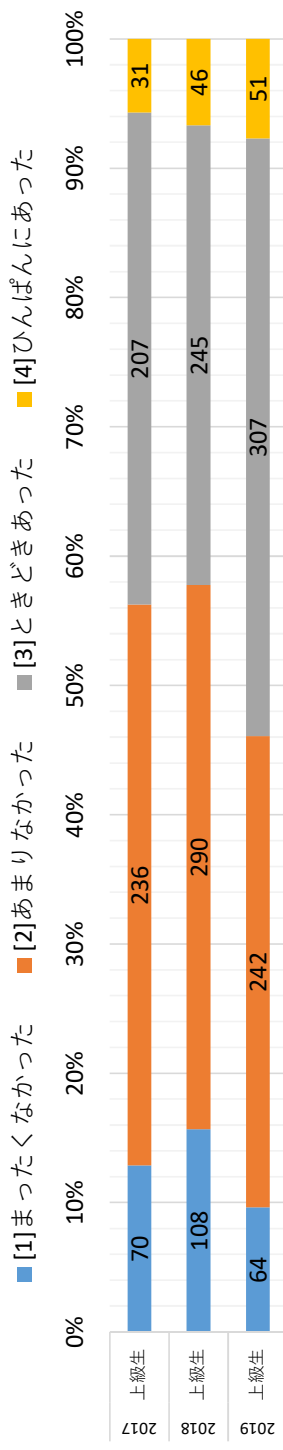
[問4H]学生が自分の考えや研究を発表する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんばんにあった	回答者数
2017	上級生	69	217	217	40	543
2018	上級生	65	289	281	51	686
2019	上級生	52	232	319	61	664



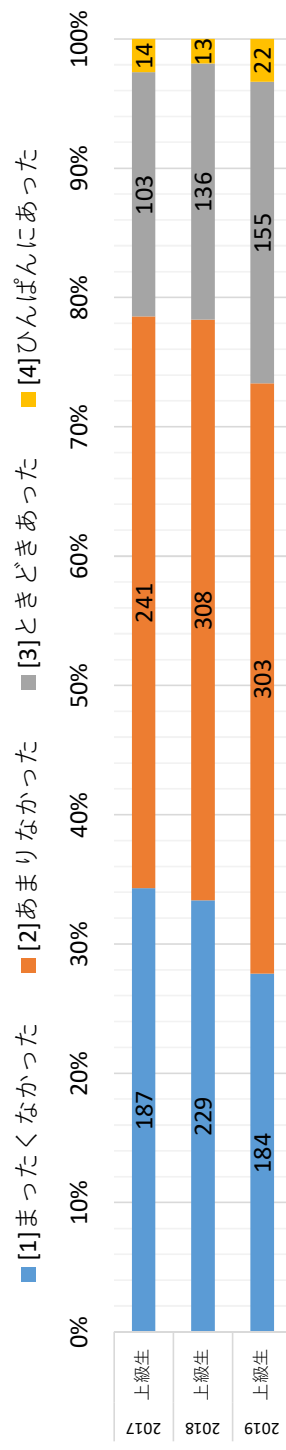
[問4]授業中に学生同士が議論をする

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	70	236	207	31	544
2018	上級生	108	290	245	46	689
2019	上級生	64	242	307	51	664



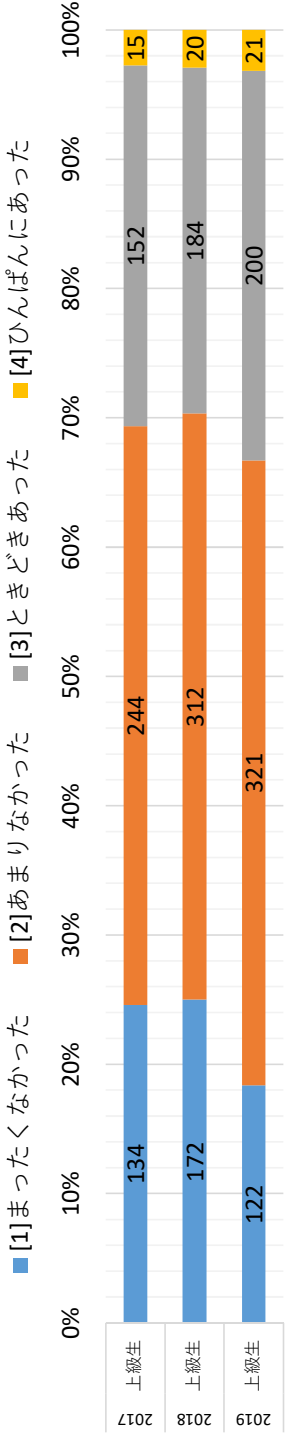
[問4]授業で検討するテーマを学生が設定する

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	187	241	103	14	545
2018	上級生	229	308	136	13	686
2019	上級生	184	303	155	22	664



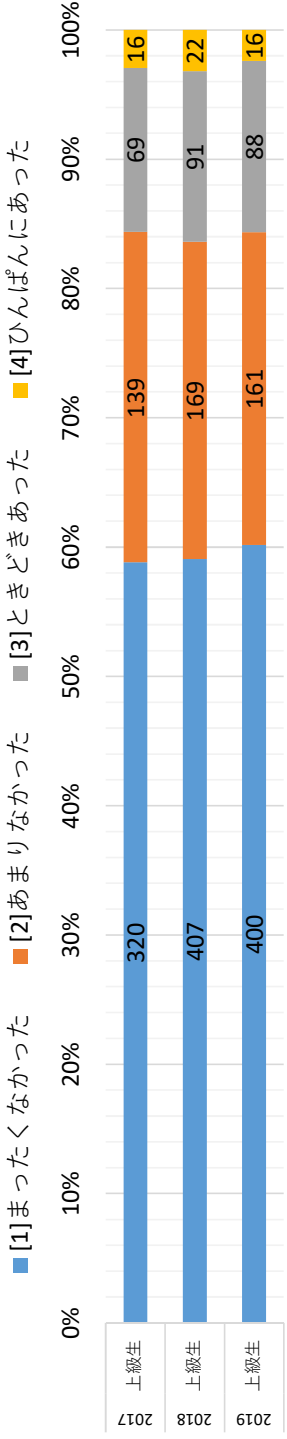
[問4K]授業の進め方に学生の意見が取り入れられる

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	134	244	152	15	545
2018	上級生	172	312	184	20	688
2019	上級生	122	321	200	21	664



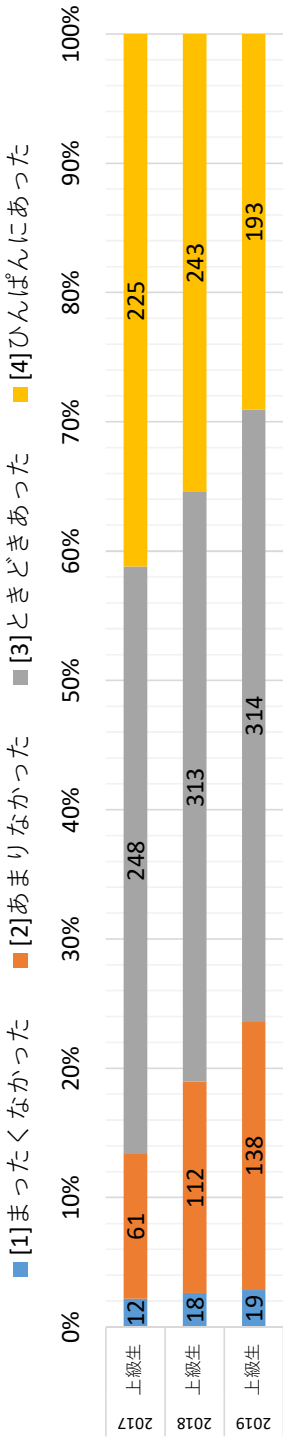
[問4L]取りたい授業を履修登録できなかった

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	320	139	69	16	544
2018	上級生	407	169	91	22	689
2019	上級生	400	161	88	16	665



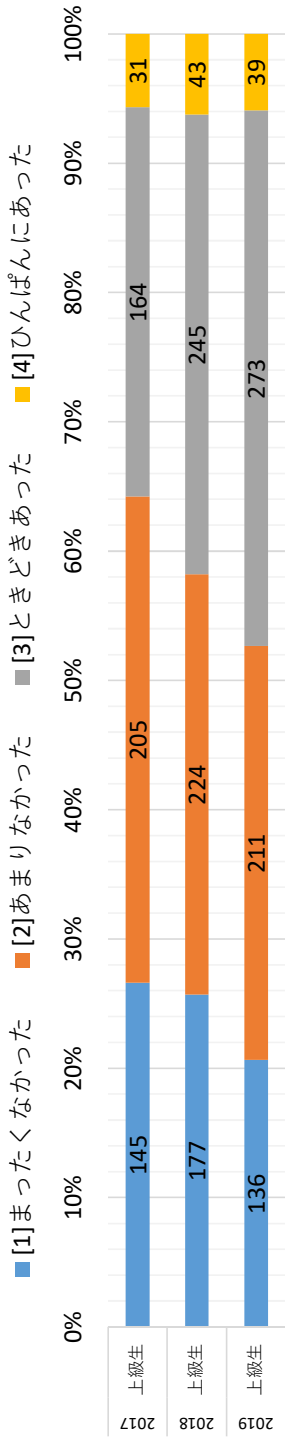
[問4M]出席することが重視される

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	12	61	248	225	546
2018	上級生	18	112	313	243	686
2019	上級生	19	138	314	193	664

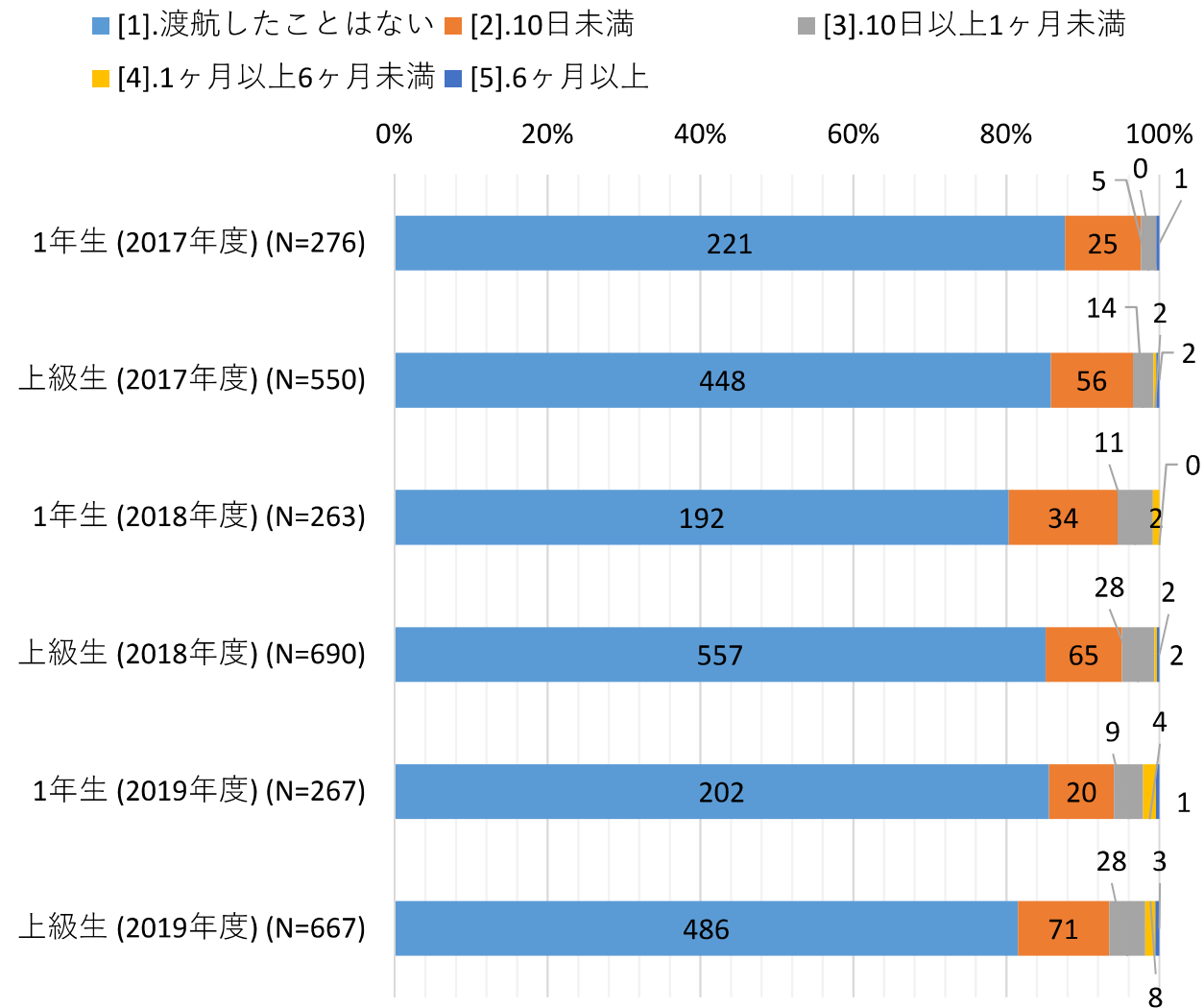


[問4N]TAやSAなどの授業補助者から補助を受ける

年度	学年	[1]まったくなかった	[2]あまりなかった	[3]ときどきあった	[4]ひんぱんにあった	回答者数
2017	上級生	145	205	164	31	545
2018	上級生	177	224	245	43	689
2019	上級生	136	211	273	39	659



海外渡航経験



調査年度と学年	[1].渡航したことはない	[2].10日未満	[3].10日以上1ヶ月未満	[4].1ヶ月以上6ヶ月未満	[5].6ヶ月以上
1年生 (2017年度) (N=276)	221	25	5	0	1
上級生 (2017年度) (N=550)	448	56	14	2	2
1年生 (2018年度) (N=263)	192	34	11	2	0
上級生 (2018年度) (N=690)	557	65	28	2	2
1年生 (2019年度) (N=267)	202	20	9	4	1
上級生 (2019年度) (N=667)	486	71	28	8	3

[設問]

「アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドやこれらの国以外（インド、シンガポール等）などへの渡航経験（期間）についておうかがいします。英語でコミュニケーションをすることを目指した渡航経験があれば、その期間（複数回の経験がある場合は最長のもの）について1つ選んで回答してください。

10日未満程度の渡航期間まで合わせると、各学年10%程度が渡航経験があると回答している。

3.授業評価

毎年前期と後期一回ずつ、一教員につき一科目のアンケートが実施されている。
10 の設問と自由記述からなる。レーダーチャートでは学科別の得点分布を示している。
すべて 4 点満点に換算している。

アンケート設問について

設問についての説明

マークシートでの回答は10設問

設問1: シラバスに沿っているか

この授業の内容がシラバス（授業計画）に沿っているかについて、最も当てはまる選択肢を一つ選んでください。

設問2: 受講前の興味関心

この授業の内容や関連分野に対するあなたの興味や関心は、受講前の時点でどうでしたか。

設問3: 受講後の興味関心

この授業を受けたことで、以前と比べてこの授業の内容や関連分野に興味や関心が高まりましたか。

設問4: 理解

この授業は理解できましたか。

設問5: 難易度スピード

この授業の内容の難易度や進むスピードは、今のあなたの知識や能力と照らして適切でしたか。

設問6: 教材の適切さ教科書やスライド、配布資料などの教材（課題を含む）は、あなたがこの授業を理解する上で適切でしたか。

設問7: 授業に関する質問

授業に関する教員への質問に関して、あなたに最も当てはまる選択肢を一つ選んでください。

設問8: 授業内の質問/演習/ディスカッション

この授業では、教員が学生へ質問したり、学生に課題や演習をさせたり、学生同士でディスカッションを等を行うなどの活動がどの程度ありましたか。

設問9: 集中

私語やスマートフォンの使用など授業と無関係なことをせずに、授業に集中していましたか。

設問10: 予習復習

あなたはこの授業について、予習・復習など授業外の学習をどの程度行いましたか。

設問11: 自由記述

総合的にこの授業を見て、あなたがこの授業に満足できた点、満足できなかった点を記入してください。（自由記述設問。今回の分析には入っていない。）

設問についての説明

設問 1, 2 について

設問1:この授業の内容がシラバス（授業計画）に沿っているかについて、最も当てはまる選択肢の一つを選んでください。

選択肢:

- 1.シラバスを見たことがないので、わからない
- 2.シラバスの内容を覚えていないのでわからない
- 3.この授業はシラバスにあまり沿っていないと思う
- 4.この授業はシラバスにおおむね沿っていると思う

分析方法:

選択肢の回答割合を2017年、2018年の経年と共通を含む学科別に比較した

とりうる値:
0～1.00

設問2:この授業の内容や関連分野に対するあなたの興味や関心は、受講前の時点でどうでしたか。

選択肢:

1. 全くなかった
2. ほとんどなかった
3. 多少あった
4. 非常にあった

分析方法:

評定平均値を算出し、経年、学科で比較

(1と回答した数×1点+2と回答した数×2点+3と回答した数×3点+4と回答した数×4点)
/(4と回答した数+3と回答した数+2と回答した数+1と回答した数)

とりうる値:
0～4.00

設問についての説明

設問 3, 4 について

設問3:この授業を受けたことで、以前と比べてこの授業の内容や関連分野に興味や関心が高まりましたか。

選択肢:

- 1.あまり変わらなかった
- 2.やや高まった
- 3.かなり高まった

分析方法:

評定平均値を算出し、経年、学科で比較

(1と回答した数×1点+2と回答した数×2点+3と回答した数×3点+4と回答した数×4点)
/(4と回答した数+3と回答した数+2と回答した数+1と回答した数)

とりうる値:
0～3.00

設問4:この授業は理解できましたか。

選択肢:

- 1.理解できた
- 2.大体理解できた
- 3.あまり理解できなかった
- 4.全く理解できなかった

分析方法:

評定平均値を算出し、経年、学科で比較

(反転計算: 1が4点～4が1点として計算)

(1と回答した数×4点+2と回答した数×3点+3と回答した数×2点+4と回答した数×1点)
/(4と回答した数+3と回答した数+2と回答した数+1と回答した数)

とりうる値:
0～4.00

設問についての説明

設問 5, 6 について

設問 5: この授業の内容の難易度や進むスピードは、今のあなたの知識や能力と照らして適切でしたか。

得点化の方法:

1. 簡単すぎた 2. 適切だった 3. 難しすぎた

分析方法:

$2/(1+2+3) \times 100$ を計算し、経年と学科で比較

とりうる値:

0~1.00

設問 6: 教科書やスライド、配布資料などの教材（課題を含む）は、あなたがこの授業を理解する上で適切でしたか。

選択肢:

1. 多すぎた（詳しすぎた） 2. 適切だった 3. 少なすぎた（簡潔すぎた）

分析方法:

$2/(1+2+3) \times 100$ を計算し、経年と学科で比較

とりうる値:

0~1.00

設問についての説明

設問 7, 8 について

設問 7: 授業に関する教員への質問に関して、あなたに最も当てはまる選択肢の一つを選んでください。

選択肢:

1. わからない点があり質問したが、教員に質問することができなかった
2. わからない点があったが、教員に質問できる時間を授業でもっとほしい
3. わからない点があったが、自分で調べたり、友達に聞いたりして自己解決できるため質問しなかった
4. わからない点があり、教員に質問したが、教員から適切な説明や回答が得られなかった
5. わからない点があり、教員に質問をして、適切な説明や回答が得られた
6. わからない点は特になく、教員に質問する必要がなかった

分析方法:

選択肢の回答割合を2017年、2018年の経年と共通を含む学科別に比較した

とりうる値:

0~4.00

設問 8: この授業では、教員が学生へ質問したり、学生に課題や演習をさせたり、学生同士でディスカッション等をを行うなどの活動がどの程度ありましたか。

選択肢:

1. 全くなかった 2. ほとんどなかった 3. 多少あった 4. 非常にあった

分析方法:

評定平均値を算出し、経年、学科で比較

$(1 \times \text{回答した数} \times 1 \text{点} + 2 \times \text{回答した数} \times 2 \text{点} + 3 \times \text{回答した数} \times 3 \text{点} + 4 \times \text{回答した数} \times 4 \text{点}) / (4 \times \text{回答した数} + 3 \times \text{回答した数} + 2 \times \text{回答した数} + 1 \times \text{回答した数})$

とりうる値:

0~4.00

設問 9, 10について

設問9:私語やスマートフォンの使用など授業と無関係なことをせずに、授業に集中していましたか。

選択肢:

1.全くなかった 2. ほとんどなかった 3. 多少あった 4. 非常にあった

分析方法:

評定平均値を算出し、経年、学科で比較

(1と回答した数×1点+2と回答した数×2点+3と回答した数×3点+4と回答した数×4点)
/(4と回答した数+3と回答した数+2と回答した数+1と回答した数)

とりうる値:

0～4.00

設問10:あなたはこの授業について、予習・復習など授業外の学習をどの程度行いましたか。

選択肢:

1.全くしない 2. 1時間未満 3. 1時間以上1時間半未満 4. 1時間半以上

分析方法:

評定平均値を算出し、経年、学科で比較

(1と回答した数×1点+2と回答した数×2点+3と回答した数×3点+4と回答した数×4点)
/(4と回答した数+3と回答した数+2と回答した数+1と回答した数)

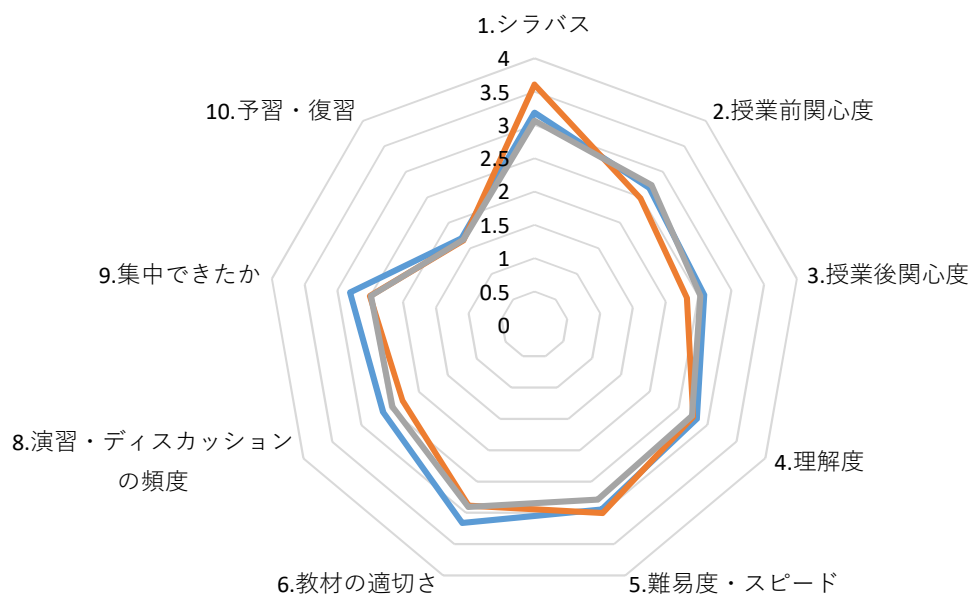
とりうる値:

0～4.00

機械、交通において「授業に集中していた」との意見が2019年度に増えた。建築においては「授業内容の難易度」、情報においては「教材の適切さ」がそれぞれ適切だったとの意見が2019年度に増えた。教育においては、「シラバスに沿っているか」において2018年度と他の年度に変動が見られたが、その他はほぼ例年と同じ結果であった。

機械システム工学科

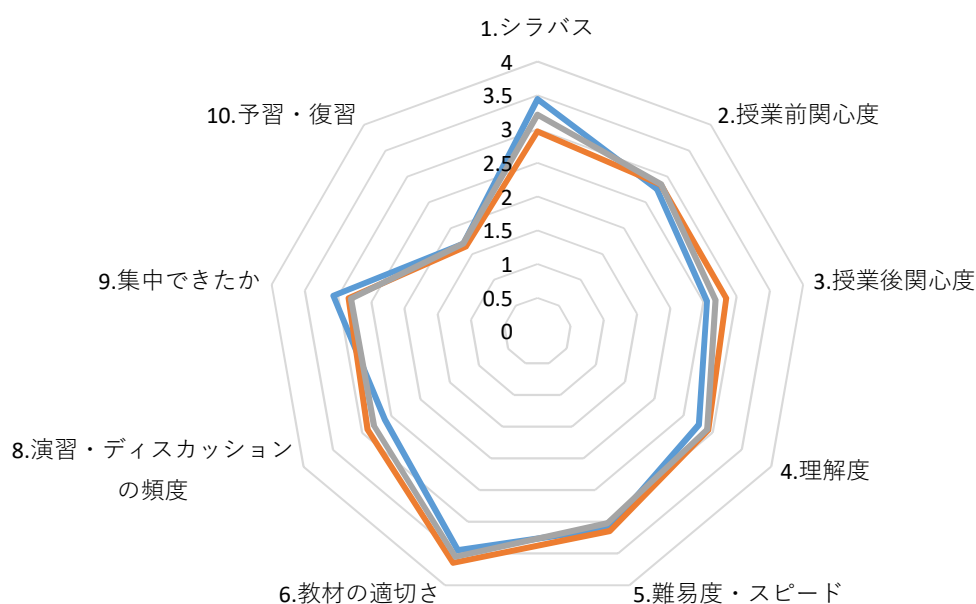
— 2019 機械システム工学科 — 2018 機械システム工学科 — 2017 機械システム工学科



学科内の平均値を表している。
全ての設問に対して4点満点に換算している。

交通機械工学科

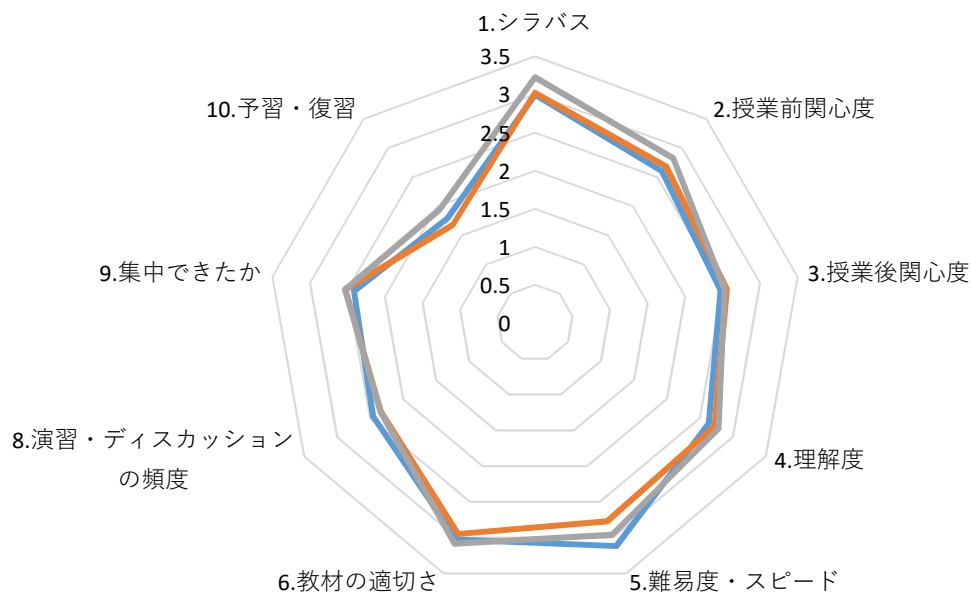
— 2019 交通機械工学科 — 2018 交通機械工学科 — 2017 交通機械工学科



学科内の平均値を表している。
全ての設問に対して4点満点に換算している。

建築・設備工学科

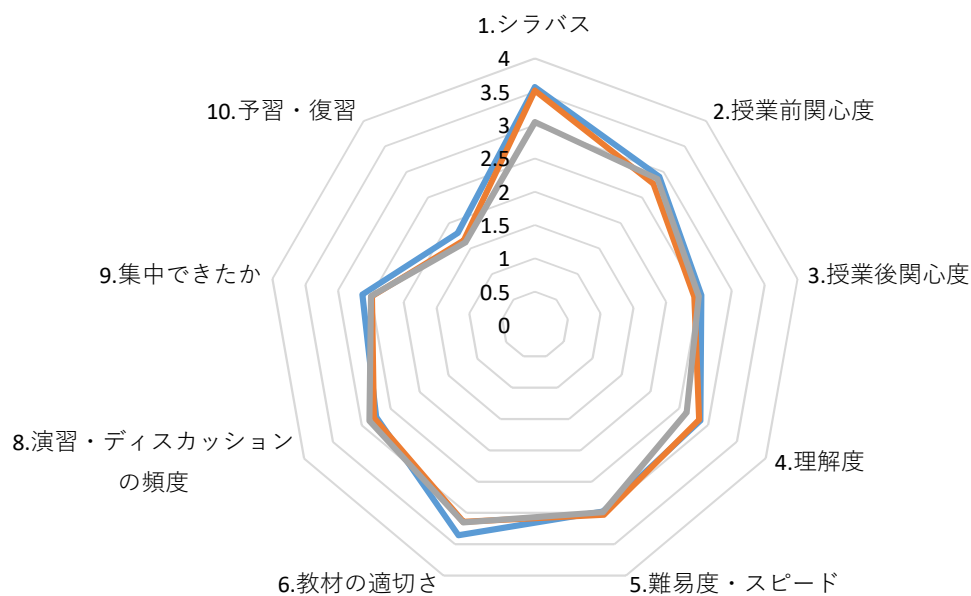
— 2019 建築・設備工学科 — 2018 建築・設備工学科 — 2017 建築・設備工学科



学科内の平均値を表している。
全ての設問に対して4点満点に換算している。

情報ネットワーク工学科

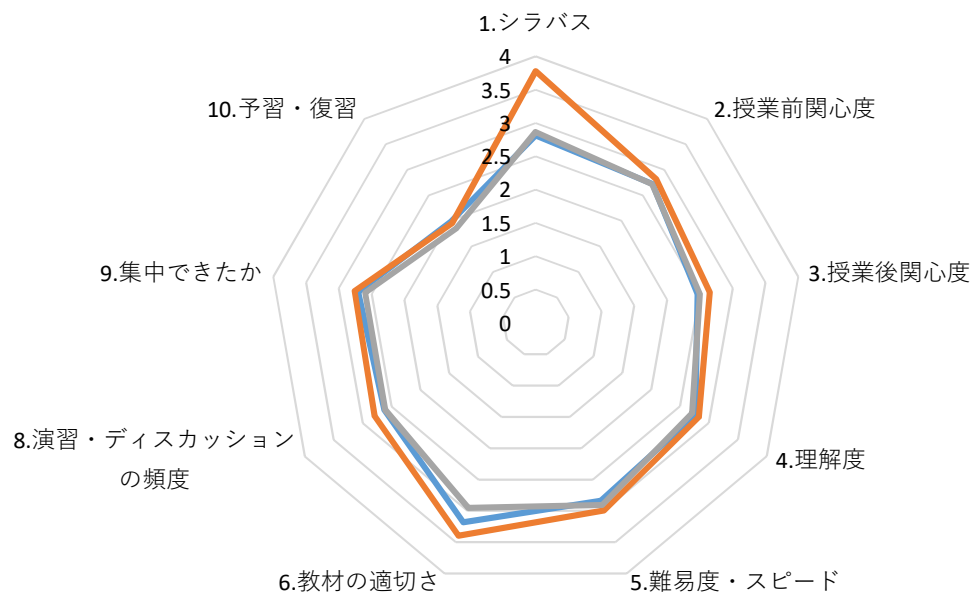
— 2019 情報ネットワーク工学科 — 2018 情報ネットワーク工学科 — 2017 情報ネットワーク工学科



学科内の平均値を表している。
全ての設問に対して4点満点に換算している。

教育創造工学科

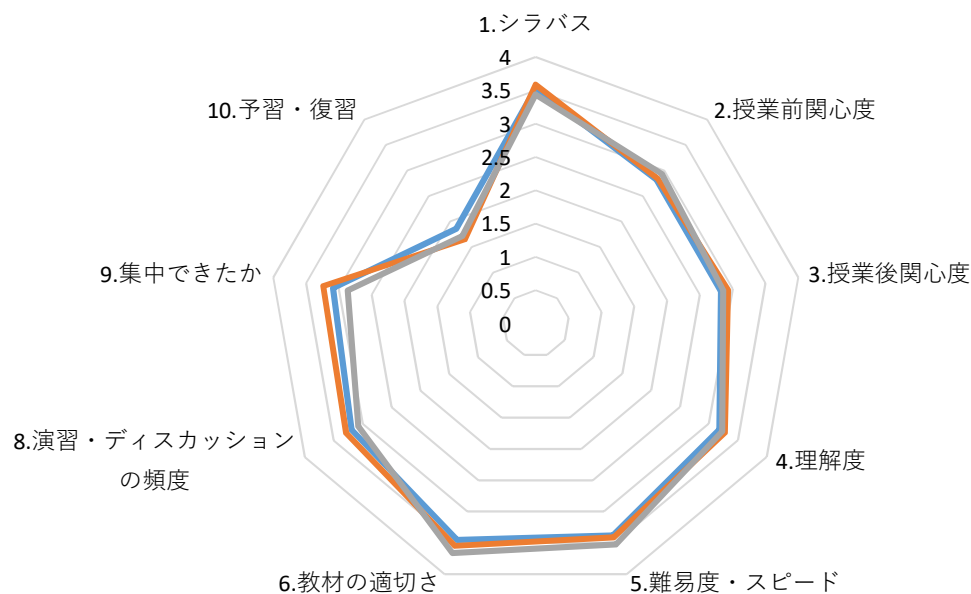
— 2019 教育創造工学科 — 2018 教育創造工学科 — 2017 教育創造工学科



学科内の平均値を表している。
全ての設問に対して4点満点に換算している。

共通教育科

— 2019 共通教育科 — 2018 共通教育科 — 2017 共通教育科



学科内の平均値を表している。
全ての設問に対して4点満点に換算している。

4. 学修成果

単位取得状況

学位取得状況

「学修成果」については、本学の学修到達度ルーブリックに基づく。回収率は 2018 年度の 2 年次への調査で 92.9%、2018 年度の卒業生への調査で 96.3%、2019 年度の卒業生への調査で 95.4%、2020 年度の 1 年次への調査で 48.9%であった。

卒業時における学修成果の到達度についての自己評価アンケート

学生番号 () 氏名 ()

入学から現在までの自分の学修状況を振り返り、次の質問に回答してください。

質問①：下記の（１）から（８）の各項目について、それぞれ現在自分が達成できていると思うレベルをレベル１からレベル４より選び、その数字を「①達成できたレベル」の欄に記入してください。

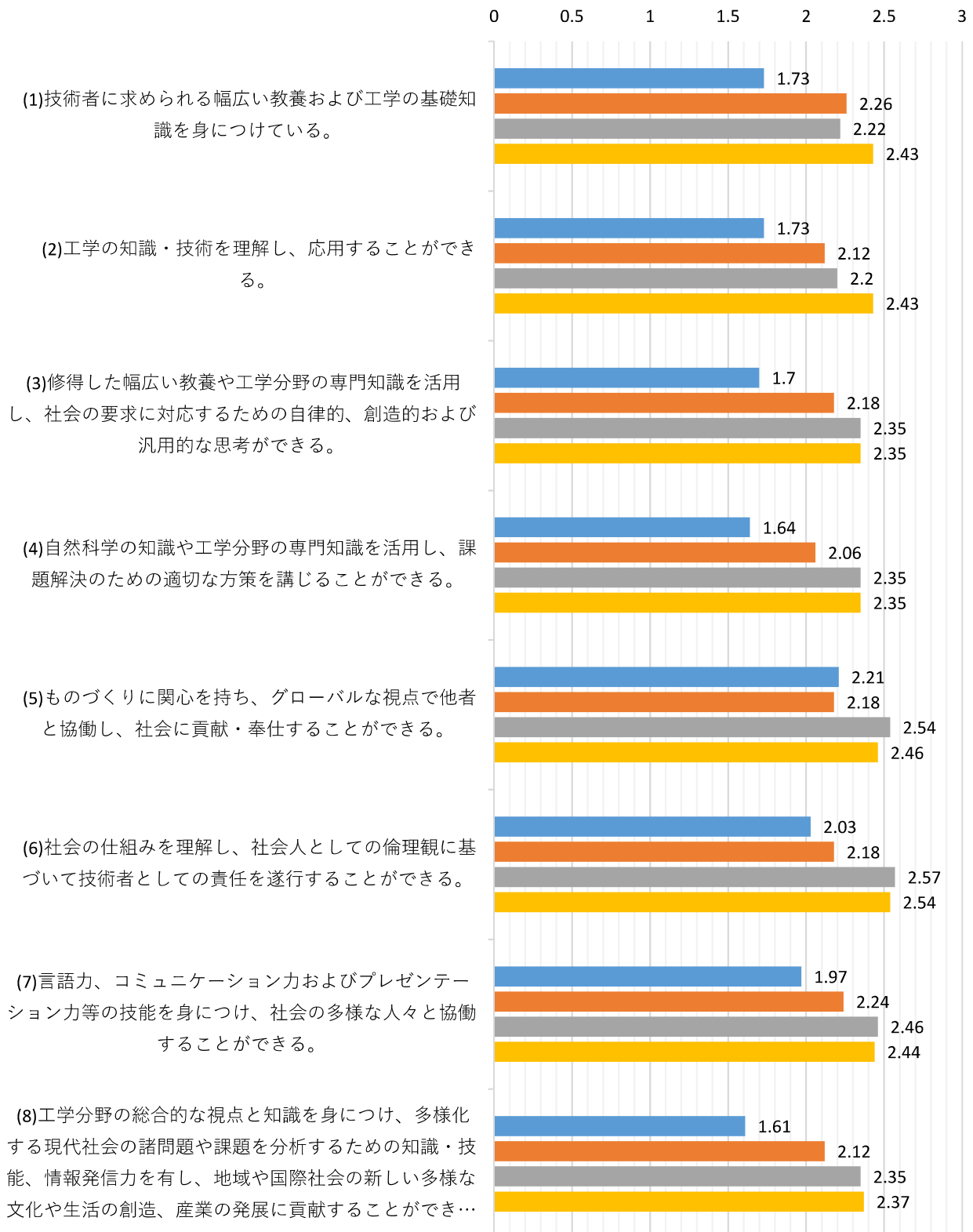
質問②：（１）から（８）の名目の学修に、それぞれ最も役立ったと思う授業科目の名称を「②最も役立った科目」の欄に記入してください。

項目		達成水準			達成できたレベル (数字を記入)	最も役立った科目 (科目名を記入)
		レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	
知識・理解	(1)技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を身につけている。	技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識はあまり身につけていない。	技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を多少は身につけている。	技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を一定程度身につけている。	技術者に求められる幅広い教養および工学の基礎知識を十分に身につけている。	
	(2)工学の知識・技術を理解し、応用することができる。	工学の知識・技術の理解が不十分で、応用することできない。	工学の知識・技術について理解することは難しい。	工学の知識・技術を理解し、ある程度応用することができる。	工学の知識・技術を理解し、応用することが十分できている。	
思考・判断	(3)修得した幅広い教養や工学分野の専門知識を活用し、社会の要求に対応するための自律的、創造的および汎用的な思考ができる。	幅広い教養や工学分野の専門知識の修得が不十分であるため、その活用も難しく、社会の要求に対応するための自律的、創造的および汎用的な思考を行うことができない。	幅広い教養や工学分野の専門知識の修得はできているが、その活用が難しく、社会の要求に対応するための自律的、創造的および汎用的な思考を行うことができない。	修得した幅広い教養や工学分野の専門知識を活用し、社会の要求に対応するための自律的、創造的および汎用的な思考がある程度はできる。	修得した幅広い教養や工学分野の専門知識を活用し、社会の要求に対応するための自律的、創造的および汎用的な思考が十分にできる。	
	(4)自然科学の知識や工学分野の専門知識を活用し、課題解決のための適切な方策を講じることができる。	自然科学の知識や工学分野の専門知識の修得が不十分であるため、それを活用し、課題解決のための適切な方策を講じることができない。	自然科学の知識や工学分野の専門知識は修得できているが、それを活用し、課題解決のための適切な方策を講じることが難しい。	自然科学の知識や工学分野の専門知識を活用し、課題解決のための適切な方策を講じることができる程度はできる。	自然科学の知識や工学分野の専門知識を活用し、課題解決のための適切な方策を講じることが十分にできる。	
関心・意欲・態度	(5)ものづくりに関心を持ち、グローバルな視点で他者と協働し、社会に貢献・奉仕することができる。	ものづくりに関心があり高くない、グローバルな視点で他者と協働し、社会に貢献・奉仕することができない。	ものづくりに関心は高いが、グローバルな視点で他者と協働し、社会に貢献・奉仕していくために必要な能力やスキルは、まだ十分に身につけていない。	ものづくりに関心を持ち、グローバルな視点で他者と協働し、社会に貢献・奉仕することがある程度はできる。	ものづくりに非常に高い関心を持ち、積極的にグローバルな視点で他者と協働し、社会に貢献・奉仕することが十分にできる。	
	(6)社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観に基づいて技術者としての責任を遂行することができる。	社会の仕組みや社会人としての倫理観についての理解が不十分で、それに基づいて技術者としての責任を遂行することができない。	社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観についてもある程度身につけているが、それに基づいて技術者としての責任を遂行するには十分ではない。	社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観に基づいて技術者としての責任を遂行することがある程度はできる。	社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観に基づいて技術者としての責任を遂行することが十分にできる。	
技能・表現	(7)言語力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することができる。	言語力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力等の技能が十分に身につけておらず、社会の多様な人々と協働することができない。	言語力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力等の技能はある程度身につけているが、社会の多様な人々と協働するには十分ではない。	言語力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することがある程度はできる。	言語力、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力等の技能を身につけ、社会の多様な人々と協働することが十分にできる。	
	(8)工学分野の総合的な視点と知識を身につけ、多様化する現代社会の諸問題や課題を分析するための知識・技能、情報発信力があり、地域や国際社会の新しい多様な文化や生活の創造、産業の発展に貢献することができる。	工学分野の総合的な視点と知識が多様化する現代社会の諸問題や課題を分析するための知識・技能、情報発信力十分に身につけておらず、社会の多様な人々と協働することができない。	工学分野の総合的な視点と知識を身につけ、多様化する現代社会の諸問題や課題を分析するための知識・技能、情報発信力がある程度有しているが、地域や国際社会の新しい多様な文化や生活の創造、産業の発展に貢献するには十分ではない。	工学分野の総合的な視点と知識を身につけ、多様化する現代社会の諸問題や課題を分析するための知識・技能、情報発信力があり、地域や国際社会の新しい多様な文化や生活の創造、産業の発展に貢献することがある程度はできる。	工学分野の総合的な視点と知識を身につけ、多様化する現代社会の諸問題や課題を分析するための知識・技能、情報発信力があり、地域や国際社会の新しい多様な文化や生活の創造、産業の発展に貢献することが十分にできる。	

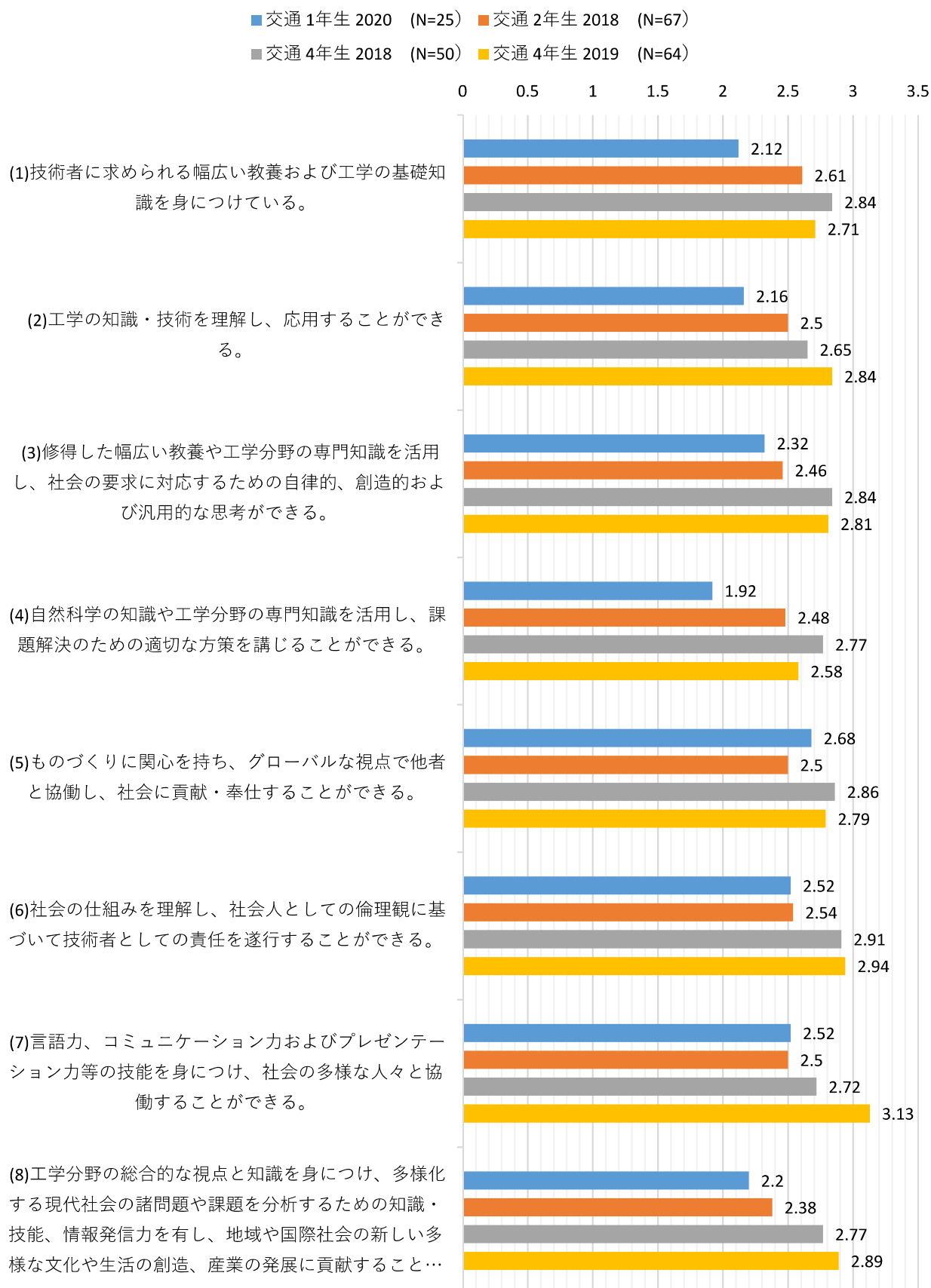
各設問における4つの棒グラフは、下に行くほど上位学年の結果になっている。
大体どの学科のどの設問も、上位学年になるほど高い得点を取っている。

機械システム工学科

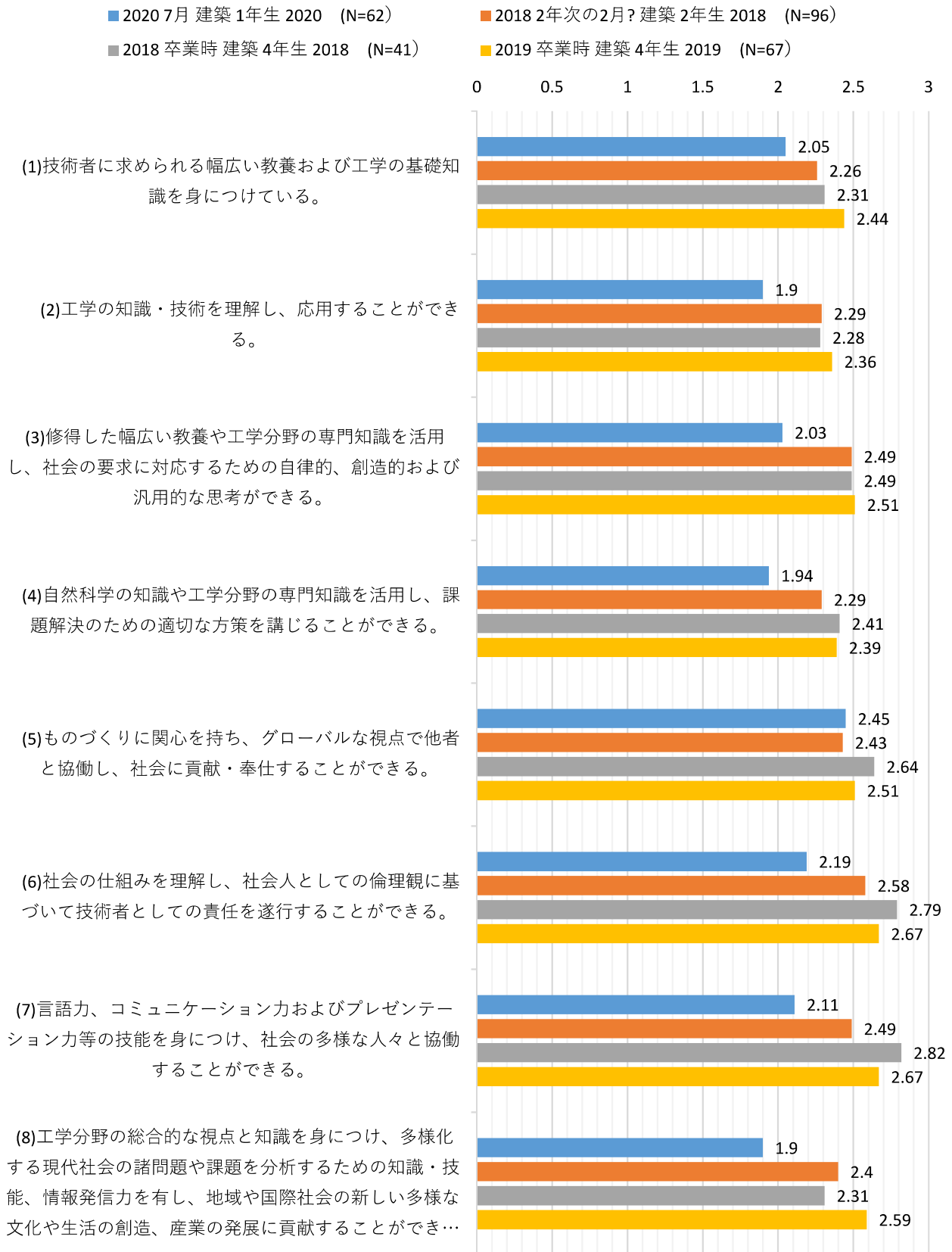
■機械 1年生 2020 (N=33) ■機械 2年生 2018 (N=47)
■機械 4年生 2018 (N=57) ■機械 4年生 2019 (N=59)



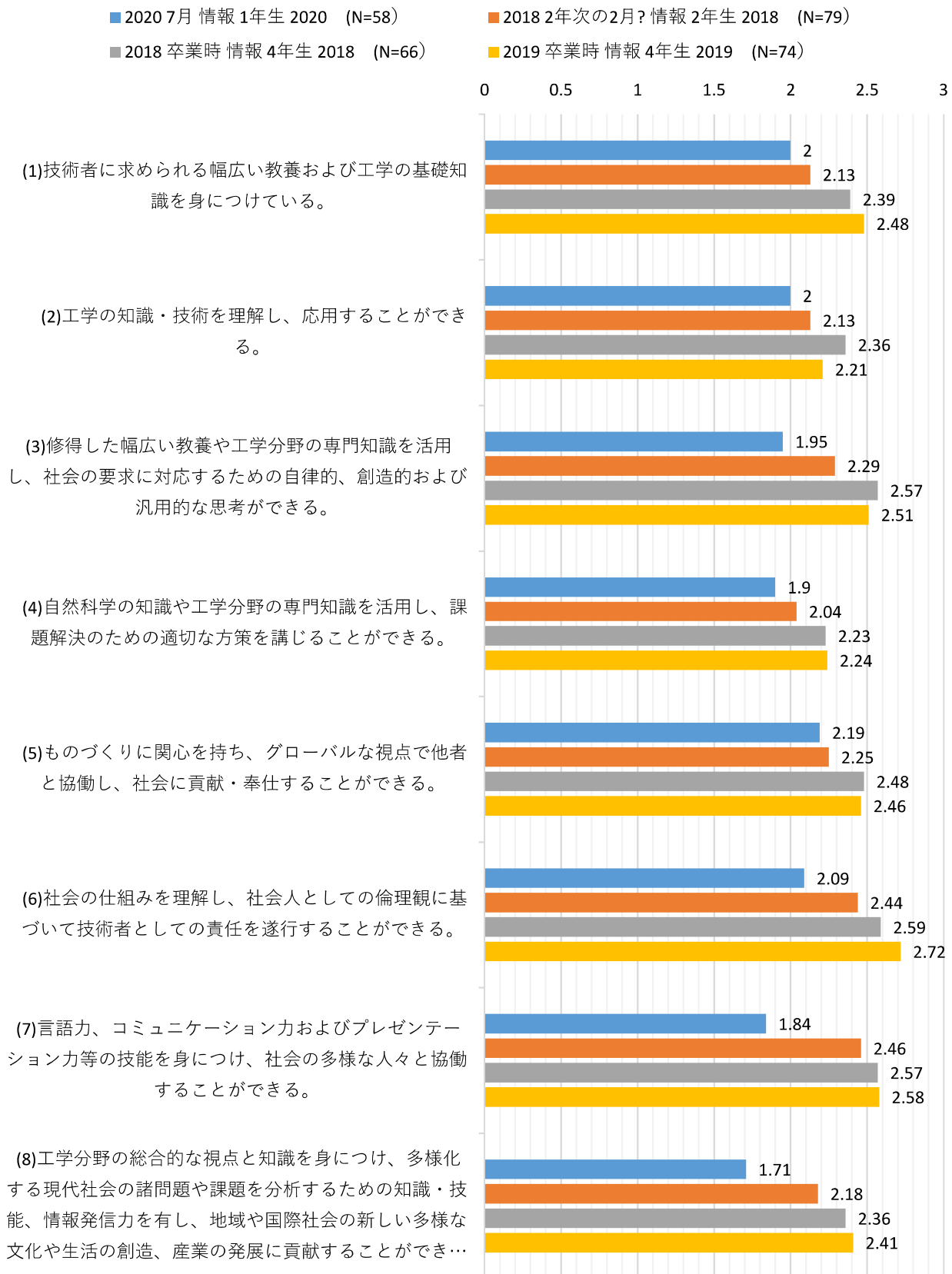
交通機械工学科



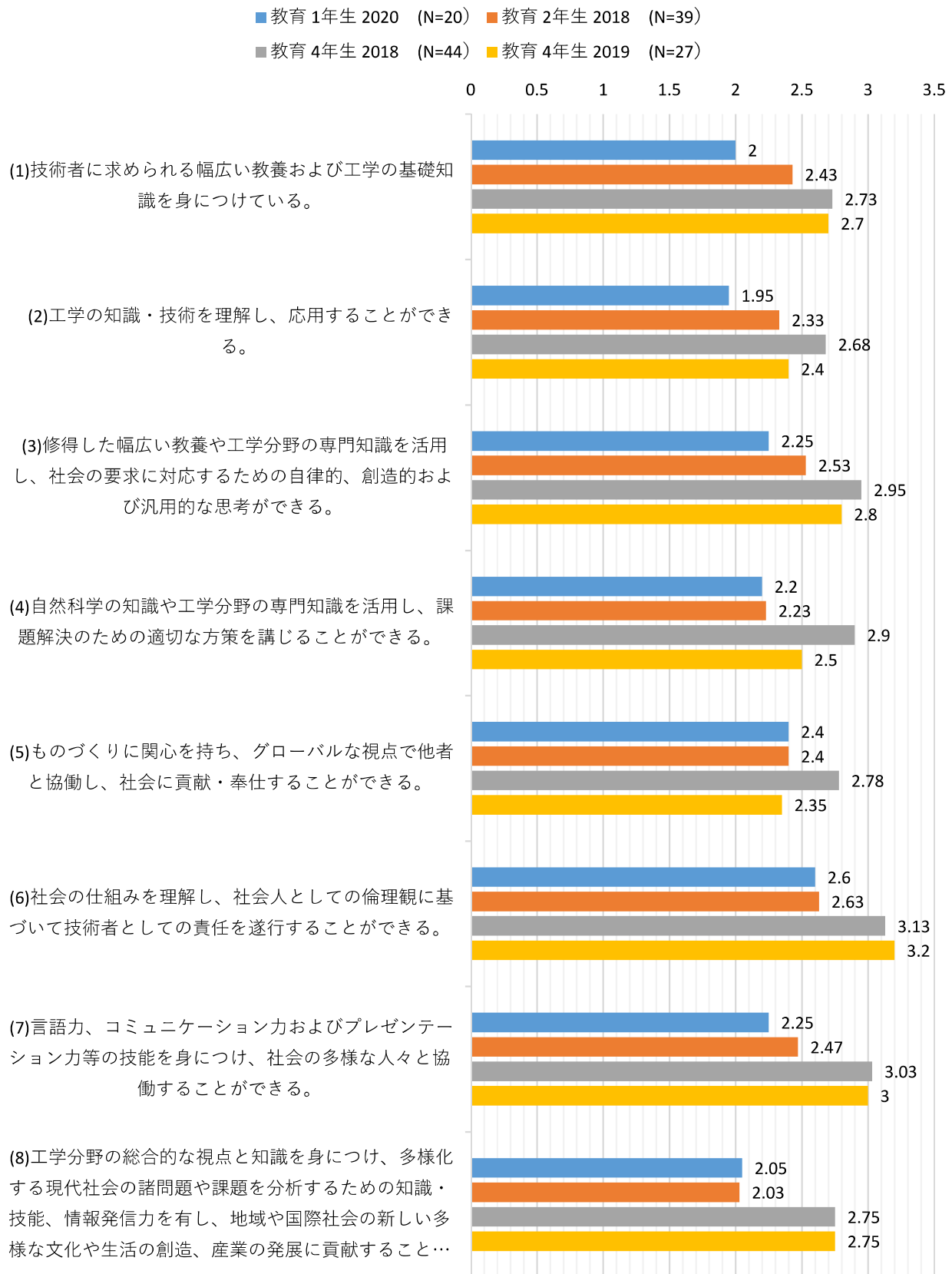
建築・設備工学科



情報ネットワーク工学科



教育創造工学科



2019年度単位取得状況

1年生

学科/専攻	コース	年度	年次	入学年度	在籍者数	0～20単位	0～20単位 (%)	21～40単位	21～40単位 (%)	41単位～	41単位～ (%)	平均
機械システム工学科	コースなし	2019	1	2019	67	6		9	32.8	39	58.2	38
交通機械工学科	先端交通・航空宇宙コース	2019	1	2019	18	0		0	55.6	8	44.4	37.56
交通機械工学科	自動車コース	2019	1	2019	36	5	13.9	30	83.3	1	2.8	30.36
建築・設備工学科	コースなし	2019	1	2019	99	8	8.1	40	40.4	51	51.5	36.96
情報ネットワーク工学科	コースなし	2019	1	2019	115	4	3.5	20	17.4	91	79.1	42.58
教育創造工学科	コースなし	2019	1	2019	46	1	2.2	1	2.2	44	95.7	45.43

2年生

学科/専攻	コース	年度	年次	入学年度	在籍者数	0～20単位	0～20単位 (%)	21～40単位	21～40単位 (%)	41単位～	41単位～ (%)	平均
機械システム工学科	コースなし	2019	2	2018	56	6	10.7	17	30.4	33	58.9	37.8
交通機械工学科	先端交通・航空宇宙コース	2019	2	2018	35	5	14.3	7	20	23	65.7	37.8
交通機械工学科	自動車コース	2019	2	2018	30	4	13.3	20	66.7	6	20	33.63
建築・設備工学科	コースなし	2019	2	2018	107	10	9.3	32	29.9	65	60.7	38.48
情報ネットワーク工学科	コースなし	2019	2	2018	91	9	9.9	60	65.9	22	24.2	33.12
教育創造工学科	コースなし	2019	2	2018	36	2	5.6	12	33.3	22	61.1	40.94

3年生

学科/専攻	コース	年度	年次	入学年度	在籍者数	0～20単位	0～20単位 (%)	21～40単位	21～40単位 (%)	41単位～	41単位～ (%)	平均
機械システム工学科	コースなし	2019	3	2017	46	9	19.6	37	80.4	0	0	24.7
交通機械工学科	先端交通機械コース	2019	3	2017	17	0	0	17	100	0	0	34.76
交通機械工学科	自動車コース	2019	3	2017	51	4	7.8	37	72.5	10	19.6	33.31
建築・設備工学科	コースなし	2019	3	2017	92	5	5.4	77	83.7	10	10.9	35.42
情報ネットワーク工学科	コースなし	2019	3	2017	82	11	13.4	60	73.2	11	13.4	34.29
教育創造工学科	コースなし	2019	3	2017	39	4	10.3	26	66.7	9	23.1	34.08

4年生

学科/専攻	コース	年度	年次	入学年度	在籍者数	0～20単位	0～20単位 (%)	21～40単位	21～40単位 (%)	41単位～	41単位～ (%)	平均
機械システム工学科	コースなし	2019	4	2016	55	45	81.8	8	14.5	2	3.6	14.82
交通機械工学科	先端交通機械コース	2019	4	2016	26	23	88.5	3	11.5	0	0	10.92
交通機械工学科	自動車コース	2019	4	2016	37	32	86.5	5	13.5	0	0	15.92
建築・設備工学科	コースなし	2019	4	2016	69	53	76.8	14	20.3	2	2.9	14.29
情報ネットワーク工学科	コースなし	2019	4	2016	75	62	82.7	13	17.3	0	0	12.44
教育創造工学科	コースなし	2019	4	2016	30	23	76.7	7	23.3	0	0	15.87

学位取得状況

学位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学士	199	222	240	239	276
修士	5	5	8	7	10

5.資格取得実績

資格取得一覧（2016～2019年度）

資格名称	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
高等学校教諭一種免許状(数学)	23	19	27	17
高等学校教諭一種免許状(理科)	17	10	15	5
中学校教諭一種免許状(数学)	27	21	33	18
中学校教諭一種免許状(理科)	17	17	25	7
高等学校教諭一種免許状(情報)	5	10	7	3
高等学校教諭一種免許状(工業)	7	10	11	9
二級機械加工技能士(普通旋盤作業)	1	0	0	0
三級機械加工技能士(普通旋盤作業)	4	2	4	0
アーク溶接特別教育	10	43	46	63
アルミニウム溶接技能士	1	0	0	0
アルミニウム溶接技能者評価試験TN-1F	0	2	0	0
ロボ高所作業の特別教育	0	0	1	0
衛生推進者	0	0	1	0
危険物取得者乙種第四類	1	1	2	1
機械設計技術者試験三級	3	2	0	1
自由研削砥石取替え等の業務特別教育	0	0	4	23
消防設備士乙種第4類	1	0	0	0
消防設備士甲種第1類	0	0	1	0
第一種電気工事士	0	0	1	0
第二種電気工事士	6	3	1	2
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	0	0	1	0
伐木等(大径木70cm以上)の業務特別教育	0	0	1	0
普通ボイラー溶接士	1	0	0	0
有機溶剤作業主任者	0	0	1	0
溶接技能評価試験ステンレス溶接(TN-F)	0	1	0	0
溶接技能評価試験ステンレス溶接(TN-P)	0	1	0	0
フォークリフト運転技能講習	3	4	0	0
移動式クレーン運転実技教習	0	1	0	0
高所作業車運転技能講習	0	1	2	0
芝刈機・振動工具取扱作業者安全教育	0	0	1	0
車両系(解体用)運転技能講習	1	0	0	0
車両系(整地等)運転技能講習	2	1	1	1
小型移動式クレーン運転技能講習	0	1	2	1
大型特殊	1	0	0	0
二級ガソリン自動車整備士	22	26	17	17
二級ディーゼル自動車整備士	2	3	5	8
2次元CAD利用技術者試験二級	1	0	1	0
3次元CAD利用技術者試験二級	1	0	0	0
インテリアコーディネーター	0	0	1	0
カーコーディネーター検定三級	0	0	1	0
住宅建築コーディネーター	1	0	0	0
CGクリエイター検定エキスパート	6	2	2	4
CompTIAITFundamentalsCertificationExam	3	1	2	0
ITパスポート	2	5	1	1
MicrosoftOfficeSpecialistExcel2013	27	19	0	0
MicrosoftOfficeSpecialistExcel2016	0	0	32	15
MicrosoftOfficeSpecialistPowerPoint2013	17	0	0	0
MicrosoftOfficeSpecialistPowerPoint2016	0	24	19	1
MicrosoftOfficeSpecialistWord2016	0	0	0	19
情報セキュリティマネジメント試験	1	0	0	1
情報活用試験一級	2	0	0	0
情報活用試験三級	8	0	0	0
情報活用試験二級	15	0	0	0
TOEIC(450点以上)	1	6	5	7
実用英語技能検定準二級	0	1	0	0
日本漢字能力検定準二級	2	0	0	0
日本語能力試験	0	1	0	0

学位授与数

工学部	2016年度	222
	2017年度	240
大学院	2018年度	239
	2019年度	276
大学院	2016年度	5
	2017年度	8
大学院	2018年度	7
	2019年度	10

6.進路・就職実績

◇2017年度～2019年度 卒業生・修了生に対する学科・専攻別就職率

※下記の就職率：（就職者数＋進学者のうち就職している者）÷（卒業生数－大学院研究科等進学者数－外国の学校等入学者数＋進学者のうち就職している者）

	卒業年度	卒業生数	(大学院研究科等進学者数) 進学者数	就職者数	就職率
機械システム工学科	2017	46	4	39	97.5%
	2018	51	9	39	92.8%
	2019	55	6	44	89.7%
交通機械工学科	2017	55	3	50	98.0%
	2018	47	3	42	97.6%
	2019	61	9	51	98.0%
建築・設備工学科	2017	43	0	43	100.0%
	2018	35	0	35	100.0%
	2019	61	2	56	96.5%
情報ネットワーク工学科	2017	66	3	59	96.7%
	2018	64	4	53	89.8%
	2019	72	1	58	81.6%
教育創造工学科	2017	30	2	24	88.8%
	2018	42	1	36	92.3%
	2019	27	1	22	88.0%
	修了年度	修了生数	(大学院研究科等進学者数) 進学者数	就職者数	就職率
エネルギーシステム工学専攻	2017	4	0	4	100.0%
	2018	3	0	3	100.0%
	2019	4	0	4	100.0%
電子情報システム工学専攻	2017	0	0	0	／
	2018	2	0	2	100.0%
	2019	2	0	2	100.0%
自動車システム工学専攻	2017	4	0	4	100.0%
	2018	2	0	2	100.0%
	2019	4	0	4	100.0%

年度別大学院進学率

年 度	卒業者数	進学者数	進学率 (%)	就職者数	その他
2017年度	240	12	5	215	13
2018年度	239	17	7.1	205	17
2019年度	276	19	6.9	231	26

※2019年度卒業者数：2019年9月卒業者数【2名】 2020年3月卒業者数【274名】

※2019年度進学者数：大学院研究科等進学者【19名】

※2019年度その他：専門学校等への入学及び未定者数の計

7.卒業時調査

回収率は2019年度94.8%、2018年度93.3%であった。

卒業生・修了生へのアンケートのお願い

久留米工業大学では、卒業生・修了生の皆さんを対象としたアンケートを行う事としました。このアンケートは、今後の本学での就職活動支援や教育内容・方法の改善に役立て行く事を目的として行うものです。アンケート内容は何れも簡単なものと成っています。以上の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

◇以下のご記入をお願いします。(該当するものを○で囲んで下さい)

所属学科 (専攻)	1. 機械システム工学科	5. 教育創造工学科
	2. 交通機械工学科	6. エネルギーシステム工学専攻
	3. 建築・設備工学科	7. 電子情報システム工学専攻
	4. 情報ネットワーク工学科	8. 自動車システム工学専攻
性 別	1. 男性	2. 女性
学生番号 ※		学生氏名 ※

上記の※がある欄は任意記入で結構です。

◇就職 (キャリア) 支援

Q1. 卒業 (修了) 後の進路について (該当するものを○で囲んで下さい)

1. 建設業	5. 卸売・小売業	9. 公務員 (行政・警察・消防・教員含む)
2. 電気設備業	6. 金融・保険業	10. 自営業
3. 製造業	7. 不動産業	11. 進学 (大学院・専門学校)
4. 運輸・通信業	8. アウトソーシング業 (技術・サービス含む)	12. その他

Q2. 就職支援やキャリア支援で参考になったこと (該当するものを○で囲んで下さい 複数回答可)

1. キャリア講義全般	5. 学科毎に実施される進路面談会
2. MOS や TOEIC 等の資格取得講座	6. 大学主催の企業説明会 (合同・単独)
3. 就職活動に備えた面接セミナー等	7. インターンシップ
4. 学科毎に実施される業界・企業セミナー	8. その他 ()

Q3. 進路決定時期について (該当するものを○で囲んで下さい)

1. 大学入学前	4. 3 年次
2. 1 年次	5. 4 年次
3. 2 年次	6. その他 ()

Q4. 進路決定の要因について (該当するものを○で囲んで下さい 複数回答可)

1. 企業の業種	4. 福利厚生待遇	7. 家族・友人のアドバイス
2. 職種	5. 勤務地	8. キャリアサポートセンター (就職課)
3. 給与・手当等の待遇	6. 指導教員のアドバイス	9. その他

Q5-1 就業力実践演習の開講時期について (該当するものを○で囲んで下さい)

1. 3 年後期からの開講で良かった	2. 3 年前期から開講して欲しかった
--------------------	---------------------

Q5-2 就業力実践演習の内容について (該当するものを○で囲んで下さい)

1. 就職活動の参考になった	2. 就職活動の参考にはならなかった
----------------	--------------------

◇在学中の学生生活や学習内容、学習環境

Q6. 大学で学びたい目標を入学時ではっきり持っていましたか（該当するものを○で囲んで下さい）

1. はっきり持っていた
2. いくらか持っていた
3. あまり持っていなかった
4. 持っていなかった

※“4.持っていなかった”を選択した方は、Q7.へ

Q7. 入学時点での学びたい目標は、達成できたと思いますか（該当するものを○で囲んで下さい）

1. そう思う
2. いくらかそう思う
3. あまりそう思わない
4. 思わない

Q8. 在学中の学生生活で次の事項に関する満足度を評価して下さい

（該当するものに○を／4：満足 3：やや満足 2：あまり満足ではない 1：満足ではない）

学習環境（主に施設・設備）	4	3	2	1
学生生活サービス（学生相談、各種申請手続き、学生食堂）	4	3	2	1
就職支援（就職活動に関する支援や情報提供）	4	3	2	1
研究活動（主に施設・設備）	4	3	2	1
サークル活動	4	3	2	1

Q9. 本学の教育内容について各項目に関する満足度を評価して下さい

（該当するものに○を／4：満足 3：やや満足 2：あまり満足ではない 1：満足ではない）

共通教育科目（教職課程含む）に対する満足度	4	3	2	1
専門教育科目（学部専門科目・専攻科目）に対する満足度	4	3	2	1

Q10. 本学の講義全般、演習・実験方法及び卒業研究指導への満足度を評価して下さい

（該当するものに○を／4：満足 3：やや満足 2：あまり満足ではない 1：満足ではない）

本学の講義方法に対する満足度	4	3	2	1
本学の演習・実験方法に対する満足度	4	3	2	1
卒業研究指導に対する満足度	4	3	2	1

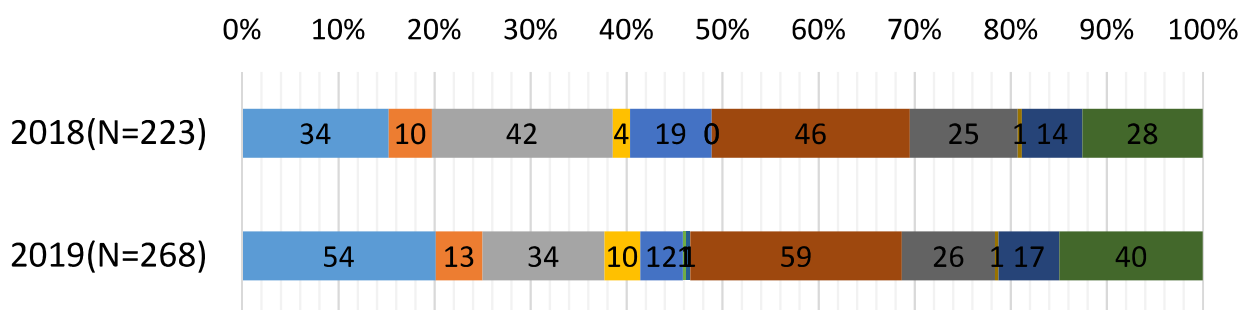
※尚、今回のアンケートに記載された個人情報につきましては、本学の就職活動支援や教育内容・方法の改善業務以外で使用する事はありません。

久留米工業大学 就職課・教務課

Q1. 卒業（修了）後の進路について

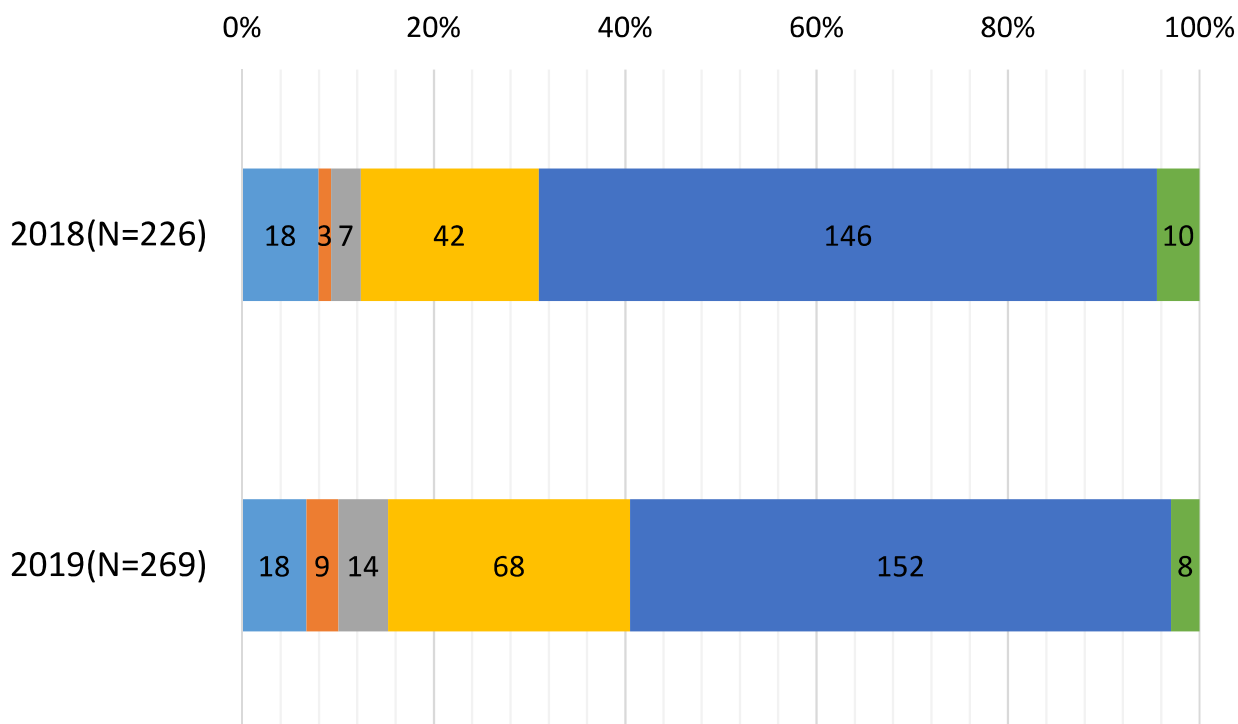
- 1. 建設業
- 2. 電気設備業
- 3. 製造業
- 4. 運輸・通信業
- 5. 卸売・小売業
- 6. 金融・保険業
- 7. 不動産業
- 8. アウトソーシング業（技術・サービス含む）
- 9. 公務員（行政・警察・消防・教員含む）
- 10. 自営業
- 11. 進学（大学院・専門学校）
- 12. その他

Q9からの満足度調査は、「卒業研究指導に対する満足度」を中心に、年々「満足」との評価が増加している様子である。



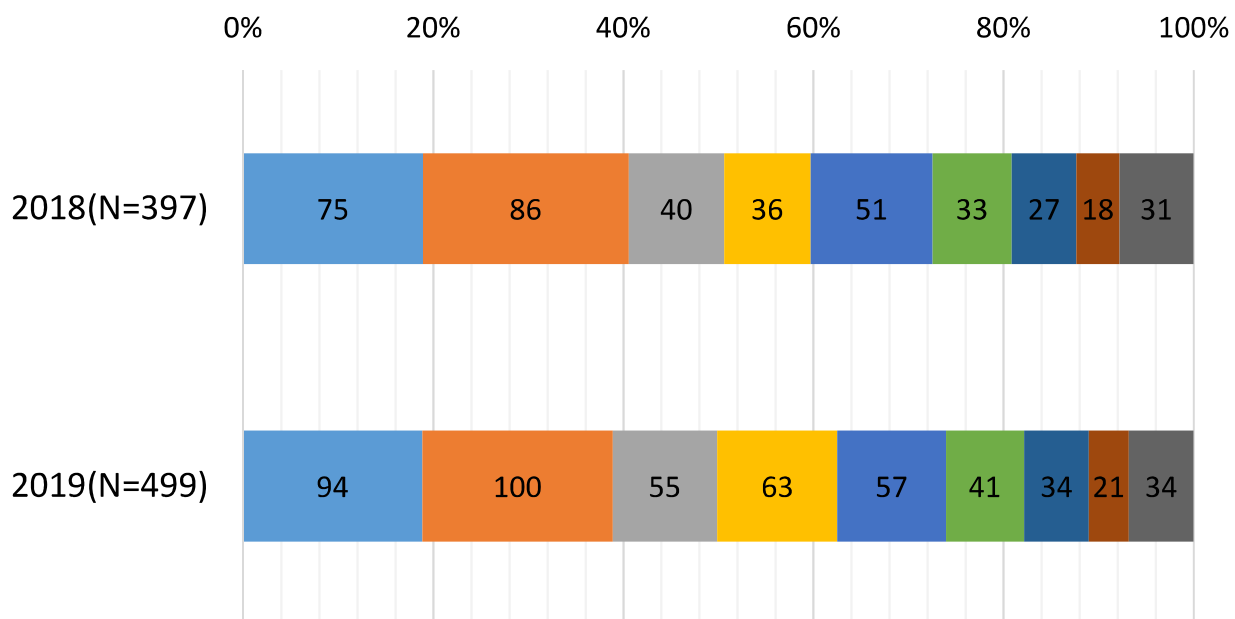
Q3. 進路決定時期について

- 1. 大学入学前
- 2. 1年次
- 3. 2年次
- 4. 3年次
- 5. 4年次
- 6. その他



Q4. 進路決定の要因について

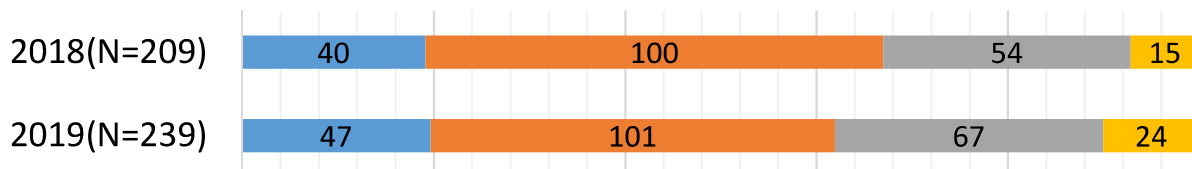
- 1. 企業の業種
- 2. 職種
- 3. 給与・手当等の待遇
- 4. 福利厚生等の待遇
- 5. 勤務地
- 6. 指導教員のアドバイス
- 7. 家族・友人のアドバイス
- 8. キャリアサポートセンター（就職課）
- 9. その他



Q6. 大学で学びたい目標を入学時ではっきり持っていましたか

- 1. はっきり持っていた ■ 2. いくらか持っていた
■ 3. あまり持っていなかった ■ 4. 持っていなかった

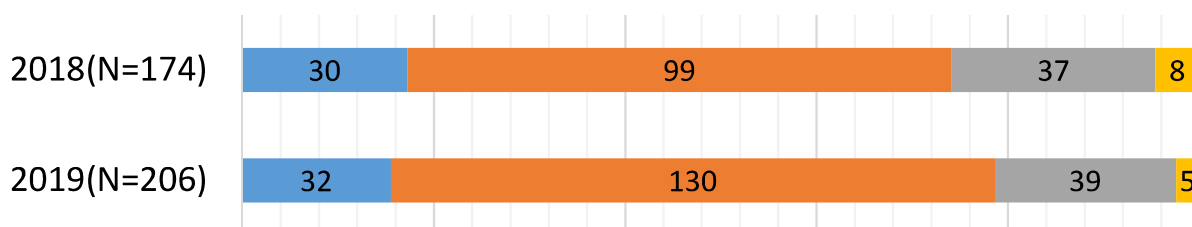
0% 20% 40% 60% 80% 100%



Q7. 入学時点での学びたい目標は、達成できたと思いますか

- 1. そう思う ■ 2. いくらかそう思う ■ 3. あまりそう思わない ■ 4. 思わない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

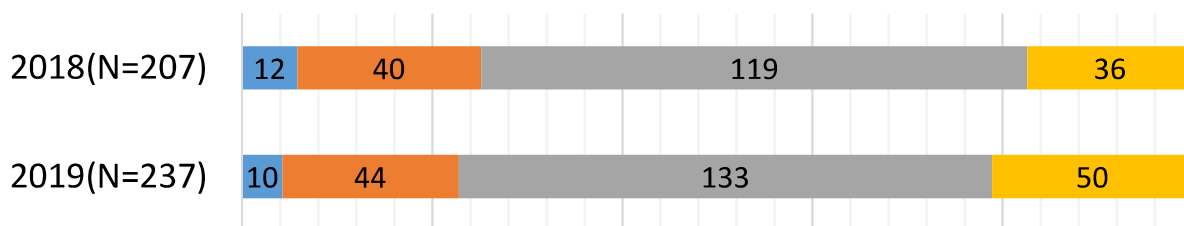


Q8. 在学中の学生生活で次の事項に関する満足度を評価して下さい

学習環境（主に施設・設備）

- 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

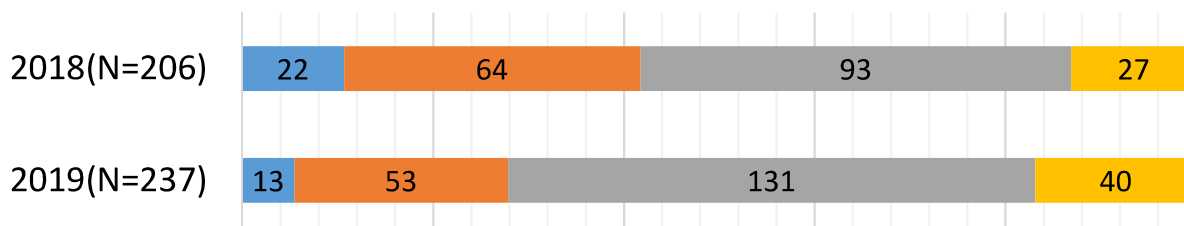
0% 20% 40% 60% 80% 100%



学生生活サービス（学生相談、各種申請手続き、学生食堂）

- 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

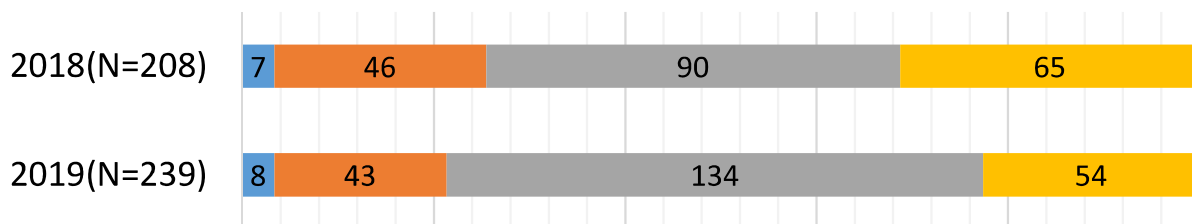
0% 20% 40% 60% 80% 100%



就職支援（就職活動に関する支援や情報提供）

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

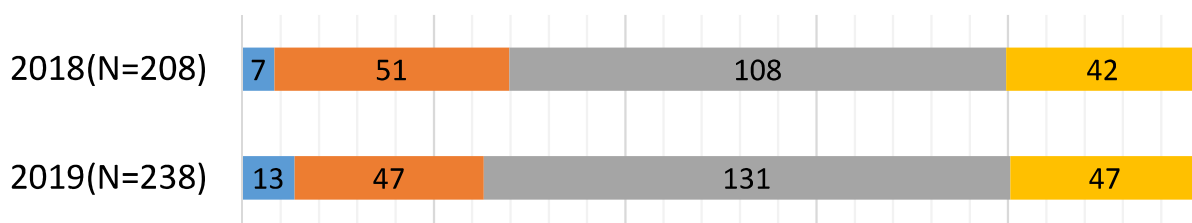
0% 20% 40% 60% 80% 100%



研究活動（主に施設・設備）

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

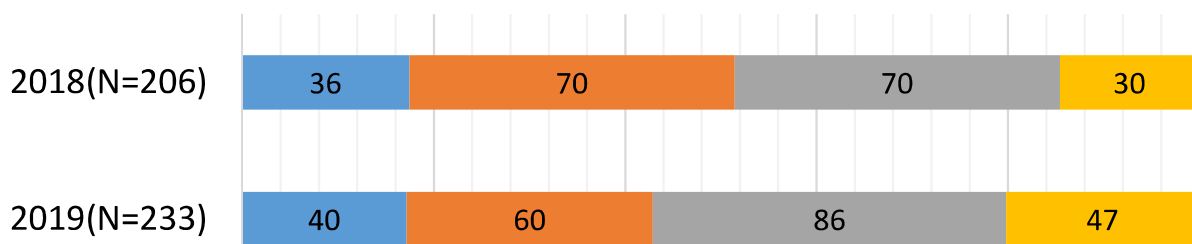
0% 20% 40% 60% 80% 100%



サークル活動

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

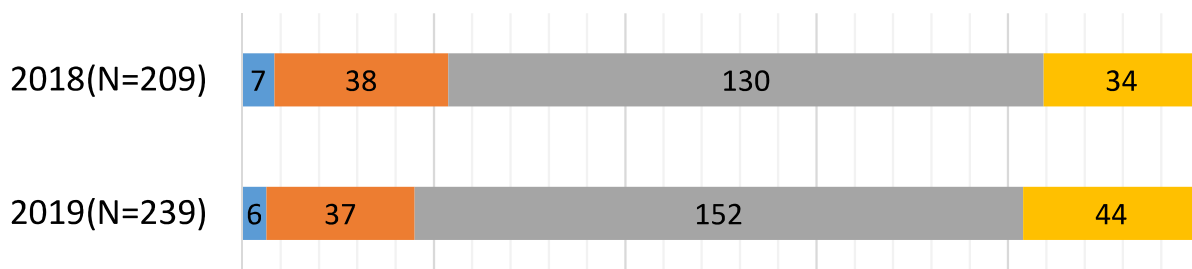
0% 20% 40% 60% 80% 100%



Q9. 本学の教育内容について各項目に関する満足度を評価して下さい 共通教育科目（教職課程含む）に対する満足度

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

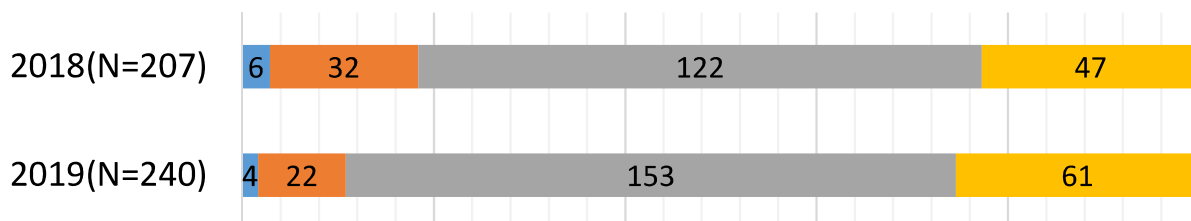
0% 20% 40% 60% 80% 100%



専門教育科目（学部専門科目・専攻科目）に対する満足度

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

0% 20% 40% 60% 80% 100%

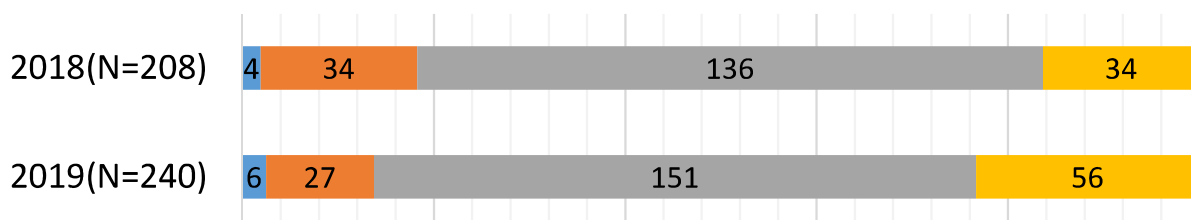


Q10. 本学の講義全般、演習・実験方法及び卒業研究指導への満足度を評価して下さい

本学の講義方法に対する満足度

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

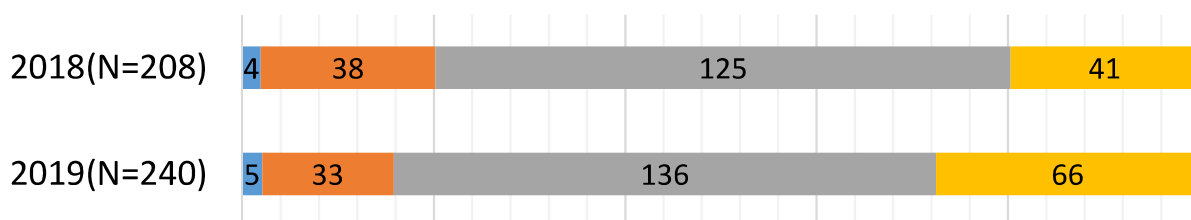
0% 20% 40% 60% 80% 100%



本学の演習・実験方法に対する満足度

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

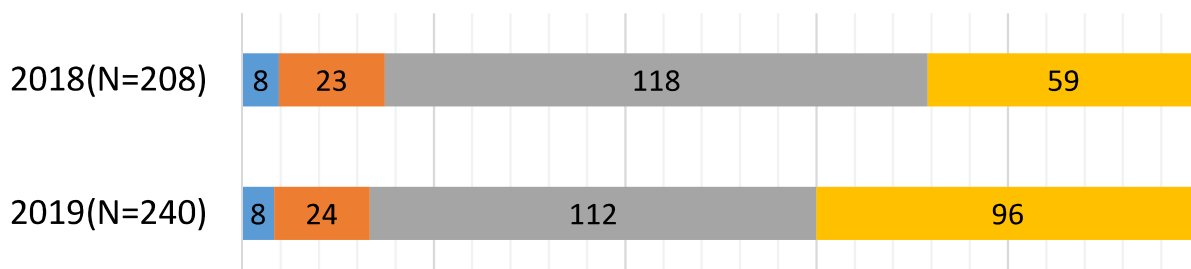
0% 20% 40% 60% 80% 100%



卒業研究指導に対する満足度

■ 1：満足ではない ■ 2：あまり満足ではない ■ 3：やや満足 ■ 4：満足

0% 20% 40% 60% 80% 100%



8.卒業生

・修了生（既卒生）調査

このアンケートの実施対象は2012、2016、2017年度の卒業生であった。

2019年度に2016年度卒業生、2020年度に2012年度と2017年度の卒業生に対してアンケートが実施された。

それぞれ、卒業生に対して主に郵送にてアンケートを配布している。回収率は2019年度12.8%、2020年度12.4%であった。

卒業生・修了生の皆様へのアンケートのお願い

久留米工業大学では、学生達のキャリア支援や学生生活支援の有り方を改善して行く為、すでに各業界や企業で活躍されている卒業生・修了生の皆様にアンケートを実施する事と成りました。

アンケートの趣旨・内容をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

◇以下のご記入をお願いします。

卒業年度をご記入下さい。(西暦)	年 月 卒業・修了
卒業時の学科(専攻)をご記入下さい	学科(専攻)
性別をお選び下さい	1: 男性 2: 女性
お名前 ※	
連絡先(お電話番号) ※	— —
メールアドレス ※	

上記の※がある欄は任意でのご記入で結構です。

◇現在のお仕事について

Q1. 卒業時の内定先にお勤めですか (該当するものを○で囲んで下さい)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q2. 現在のお勤め先の職種を教えてください (該当するものを○で囲んで下さい)

1. 営業・販売	7. 総合職
2. 施工管理	8. 事務職
3. 設計・技術	9. 教員
4. 生産技術	10. 公務員
5. 研究・開発	11. その他 ()
6. SE・PG	

Q3. 入社前にやりたいと思っていた仕事が出来ていますか
(該当するものを○で囲んで下さい)

1. 思っていた仕事が出来て大変満足	4. 思っていた仕事と大きく違いやや不満
2. 思っていた仕事がある程度出来て満足	5. 思っていた仕事と違い大変不満
3. 思っていた仕事とは少し違うが満足	

Q4. 現在の仕事には大学で学んだ知識や技術など専門性が活かされていますか
(該当するものを○で囲んで下さい)

1. とても活かされている	4. あまり活かされていない
2. ある程度活かされている	5. 活かされていない
3. どちらでもない	

◇在学中の教育内容や施設・設備環境について

Q5. 開講されていたカリキュラム内容について、あなたの評価をご記入下さい

(該当するものに○を／4:満足 3:やや満足 2:あまり満足出来なかった 1:満足出来なかった)

共通教育科目	4	3	2	1
専門教育科目	4	3	2	1
実験・演習	4	3	2	1
卒業研究	4	3	2	1

Q6. 在学中に学んだ科目の中で特に就職後に役立っているものが有ればご記入下さい

共通教育科目	
専門教育科目	
実験・演習	

Q7. 下記の項目について、本学での学修を通じて身についたと思いますか

(該当するものに○を／4:そう思う 3:やや思う 2:あまり思わない 1:思わない)

専門分野の知識	4	3	2	1
幅広い教養・視野	4	3	2	1
社会で役立つ実用的な知識	4	3	2	1
コミュニケーション力 (伝える力・聞く力・プレゼンテーション力)	4	3	2	1
課題発見・解決能力	4	3	2	1
創造能力	4	3	2	1
積極性	4	3	2	1
協調性	4	3	2	1
チャレンジ精神	4	3	2	1
責任感	4	3	2	1

Q8. 学内の施設・設備についてあなたの評価をご記入下さい

(該当するものに○を／4:満足 3:やや満足 2:あまり満足出来なかった 1:満足出来なかった)

講義室及び実験・演習室	4	3	2	1
情報センター (情報機器設備を含む)	4	3	2	1
図書館 (建物環境、蔵書類)	4	3	2	1
実験棟	4	3	2	1
事務局 (学生課・教務課・就職課)	4	3	2	1
学生寮	4	3	2	1
福利厚生施設 (学生食堂・喫茶・売店)	4	3	2	1
福利厚生施設 (体育館・学生ラウンジ・医務室・トイレ)	4	3	2	1

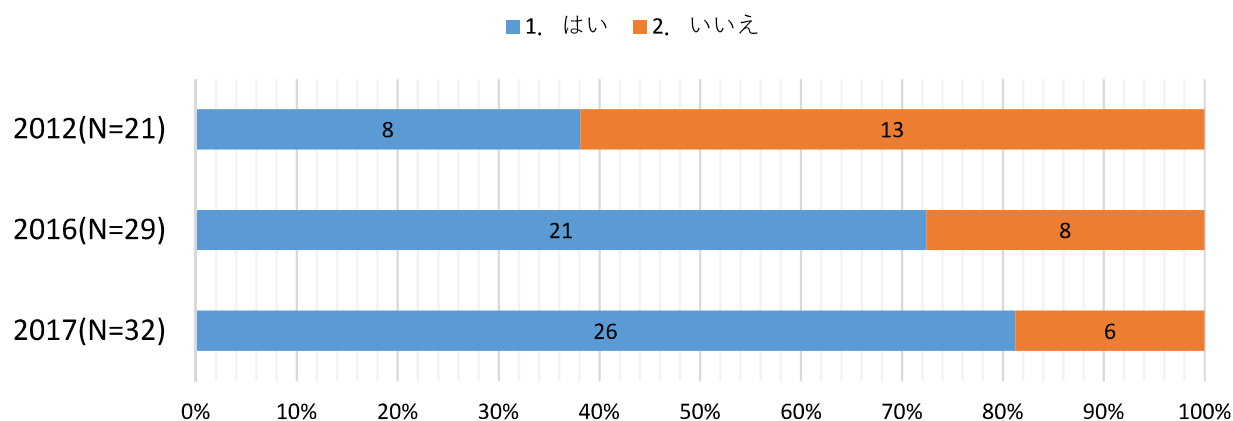
※尚、今回のアンケートに記載された個人情報につきましては、本学のキャリア支援や学生生活支援の改善業務以外で使用する事はございません。

上記のアンケート内容につきまして、ご理解の上ご回答頂けましたら、返送用封筒にて、大学担当までお送りください。

久留米工業大学 就職課・教務課

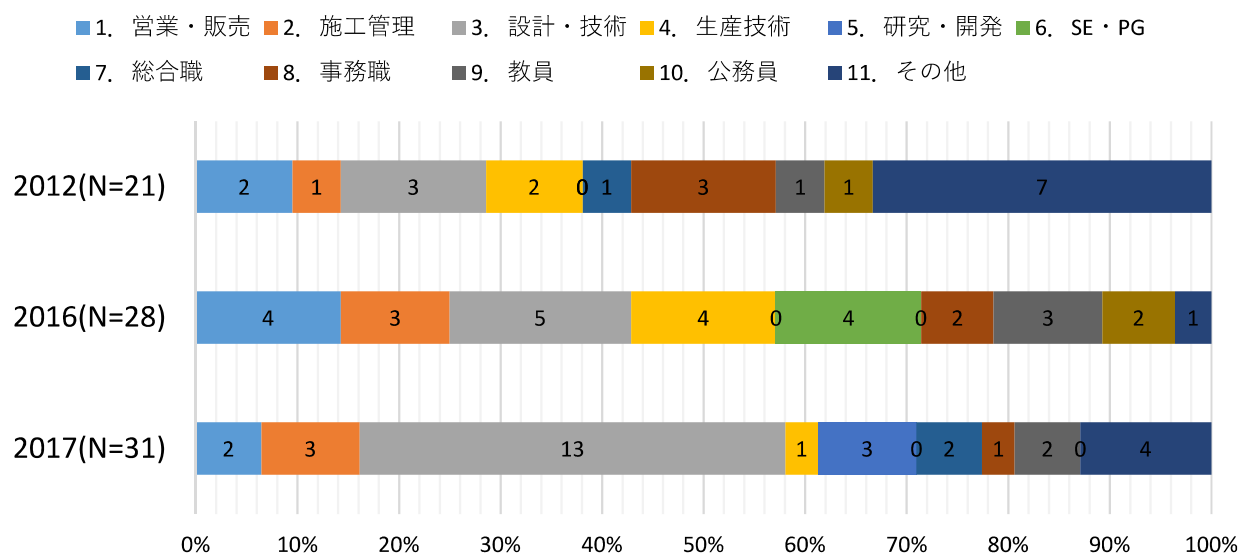
回答数が少ないデータであるので断定はしにくいですが、「Q7.本学での学修を通じて身についたと思いますか？」に関しては、「コミュニケーション力」「課題発見・解決能力」「創造能力」「積極性」「協調性」といった項目において、より若い卒業生の方が「身についた」と感じている様子である。

Q1.卒業時の内定先にお勤めですか



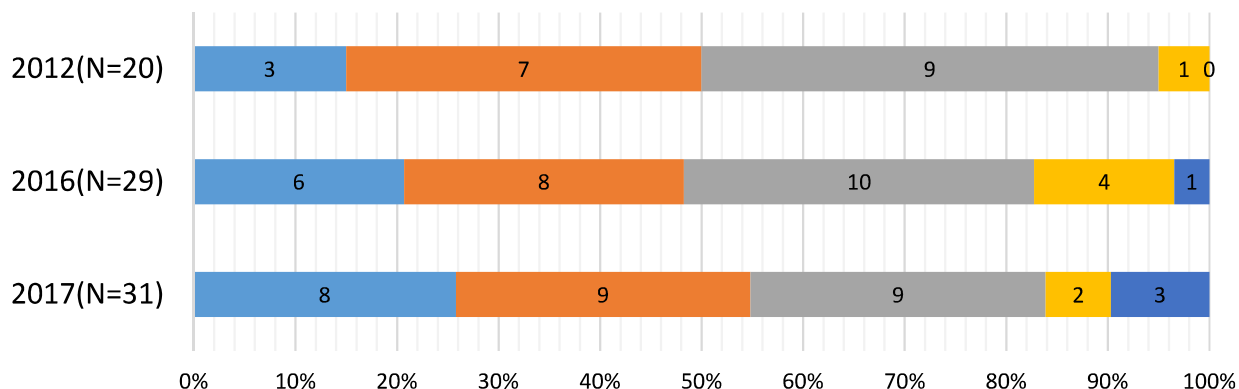
〔10〕入学した時点と比べて、
あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

Q2. 就職支援やキャリア支援で参考になったこと



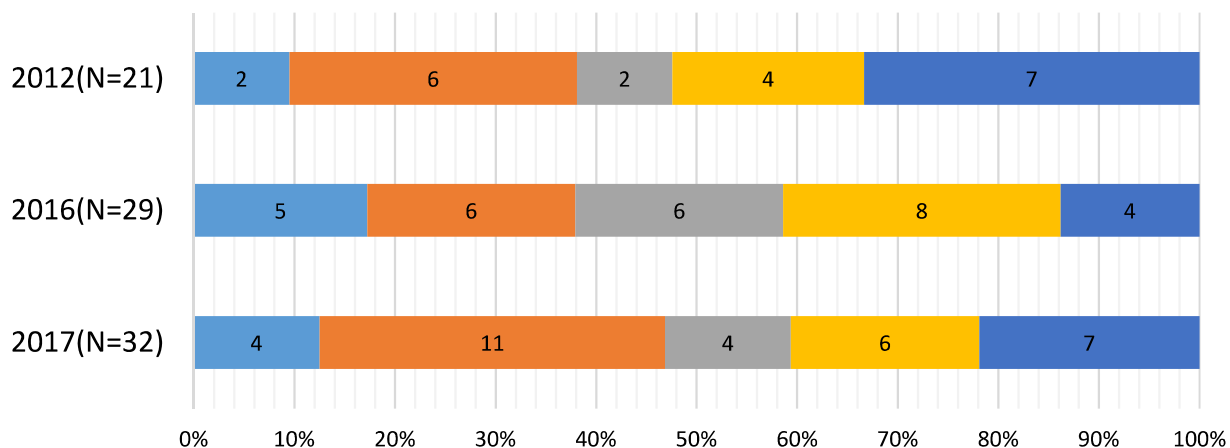
Q3. 入社前にやりたいと思っていた仕事 が出来ていますか

- 1. 思っていた仕事が出来て大変満足 ■ 2. 思っていた仕事がある程度出来て満足
- 3. 思っていた仕事とは少し違うが満足 ■ 4. 思っていた仕事と大きく違いやや不満
- 5. 思っていた仕事と違い大変不満



Q4. 現在の仕事には大学で学んだ知識や 技術など専門性が活かされていますか

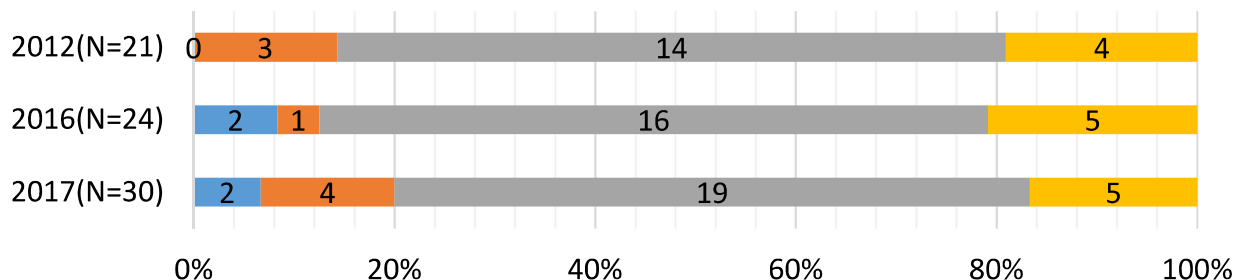
- 1. とても活かされている ■ 2. ある程度活かされている ■ 3. どちらでもない
- 4. あまり活かされていない ■ 5. 活かされていない



Q5. 開講されていたカリキュラム内容について、あなたの評価をご記入下さい

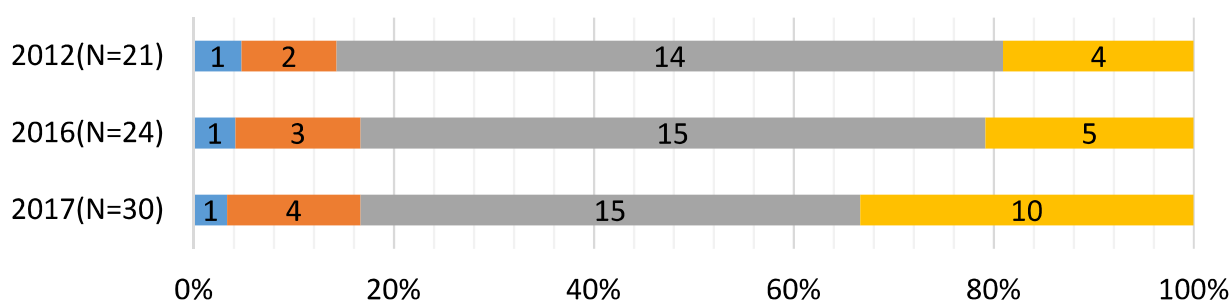
共通教育科目

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



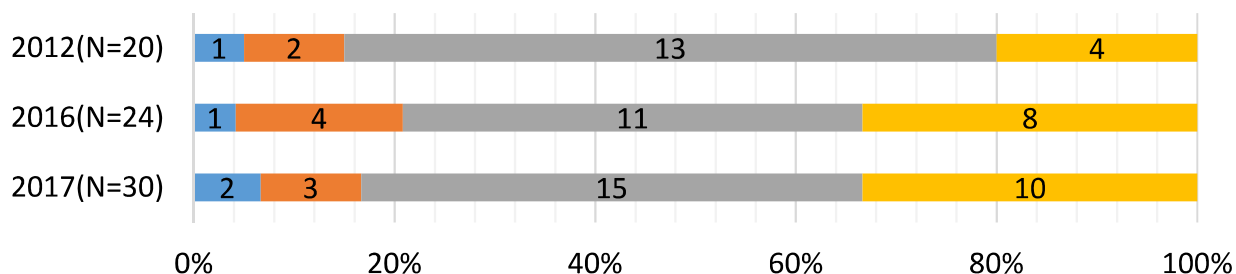
専門教育科目

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



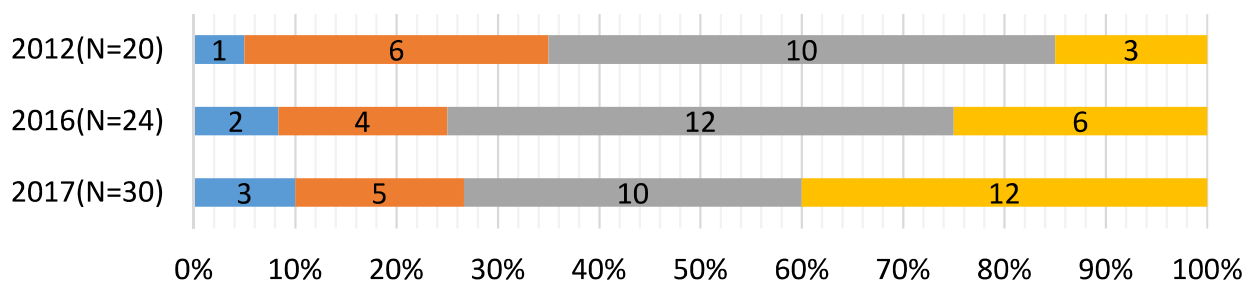
実験・演習

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



卒業研究

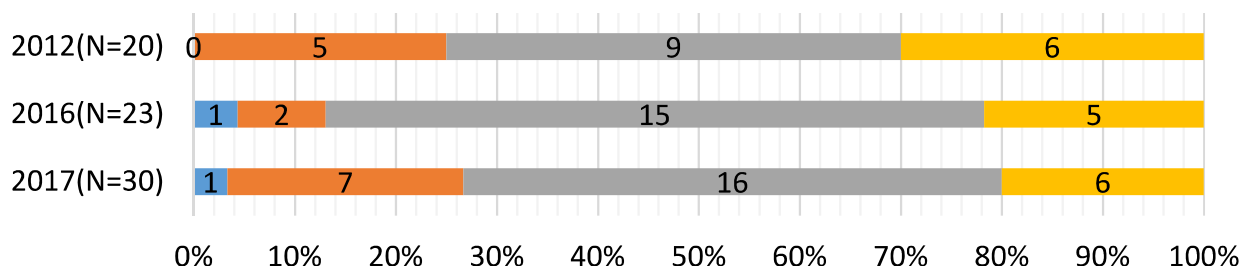
■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



Q7. 下記の項目について、本学での学修を通じて身についたと思いますか

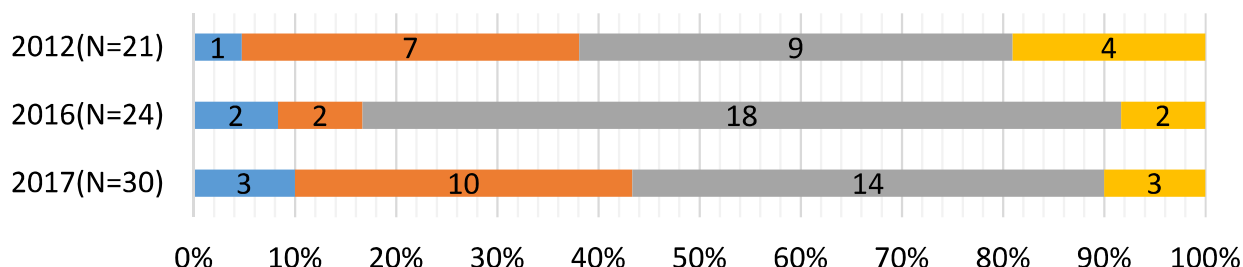
専門分野の知識

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



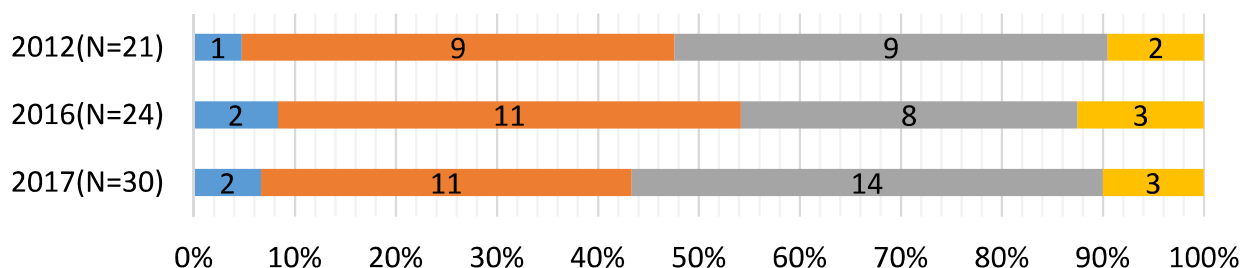
幅広い教養・視野

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



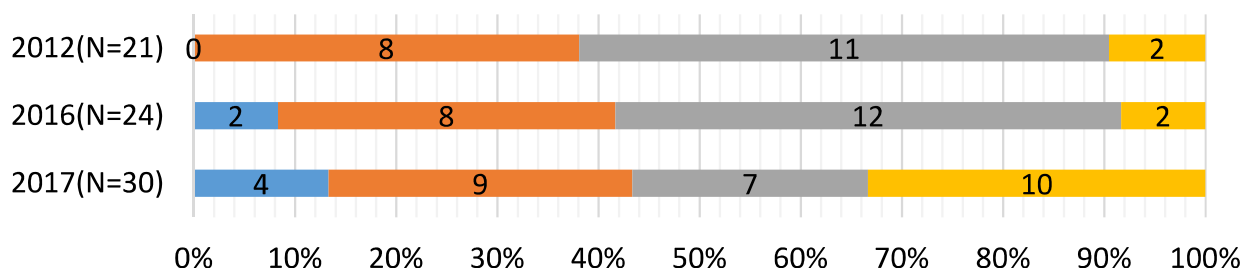
社会で役立つ実用的な知識

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



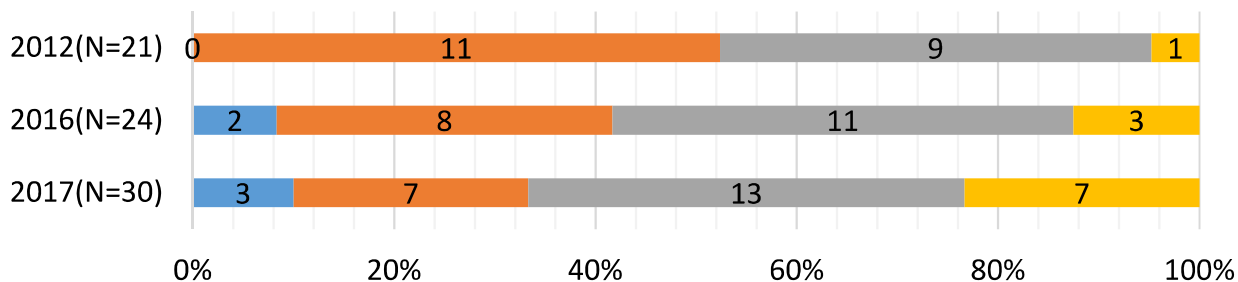
コミュニケーション力（伝える力・聞く力・プレゼンテーション力）

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



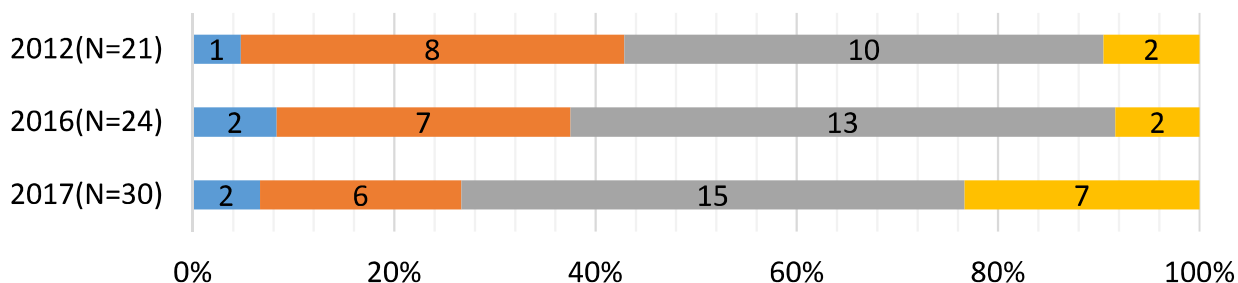
課題発見・解決能力

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



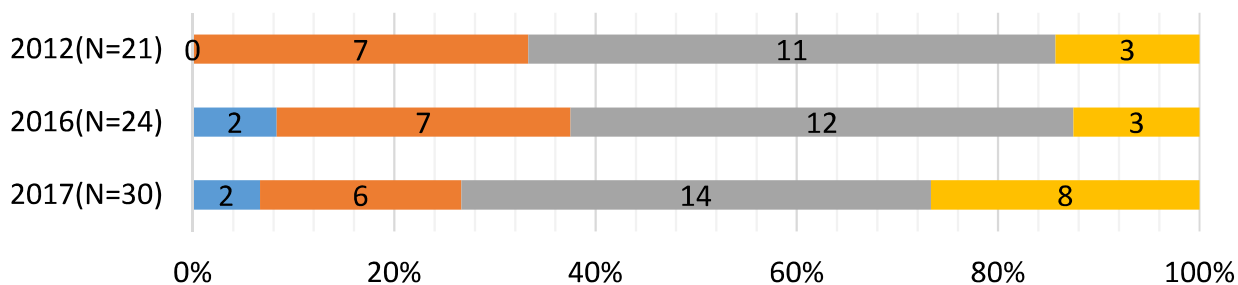
創造能力

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



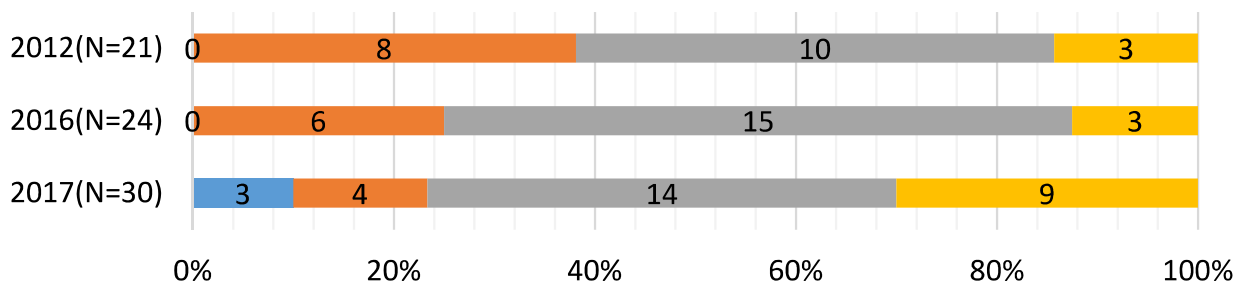
積極性

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



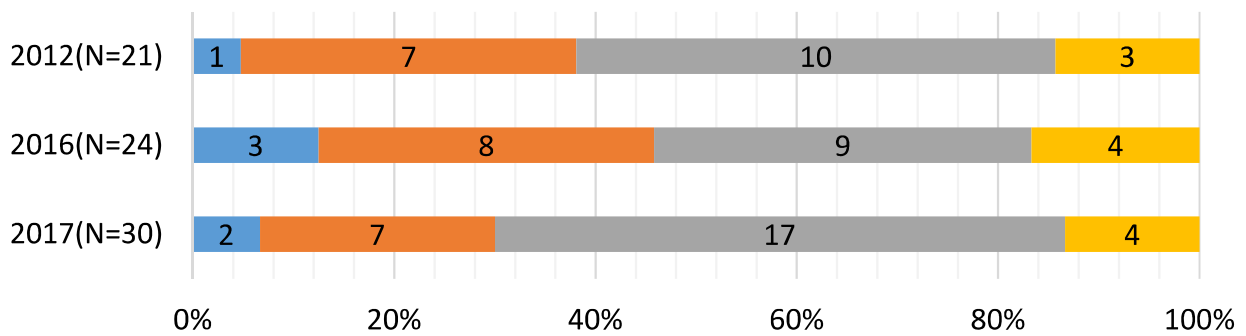
協調性

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



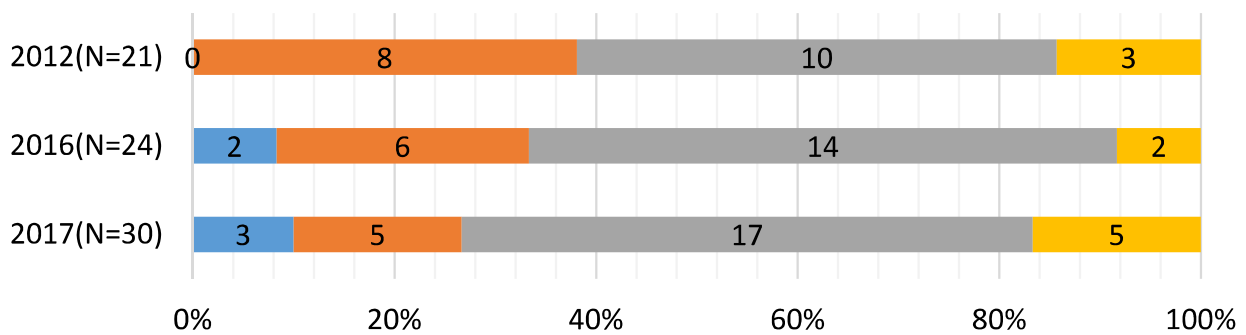
チャレンジ精神

■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



責任感

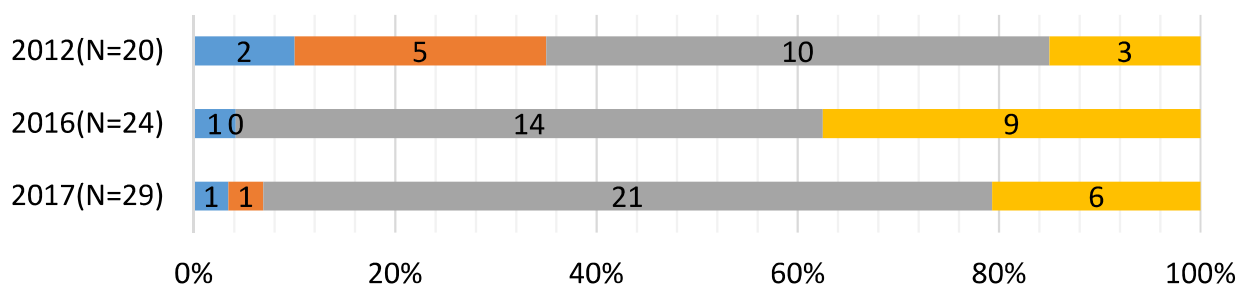
■ 1：思わない ■ 2：あまり思わない ■ 3：やや思う ■ 4：そう思う



Q8. 学内の施設・設備についてあなたの評価をご記入下さい

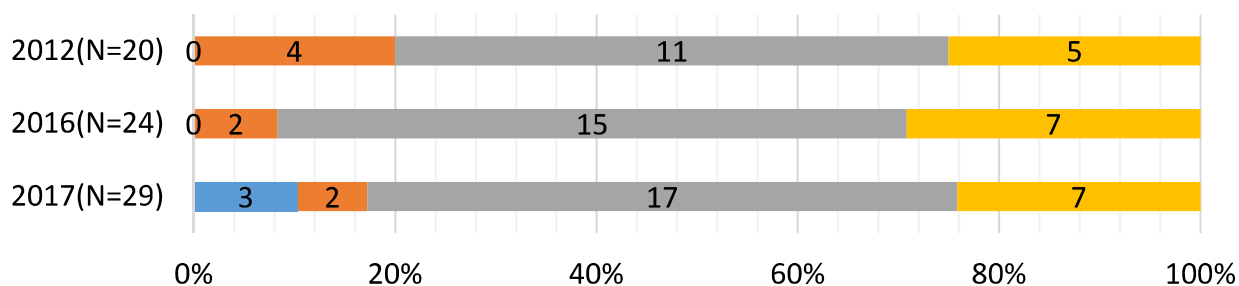
講義室及び実験・演習室

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



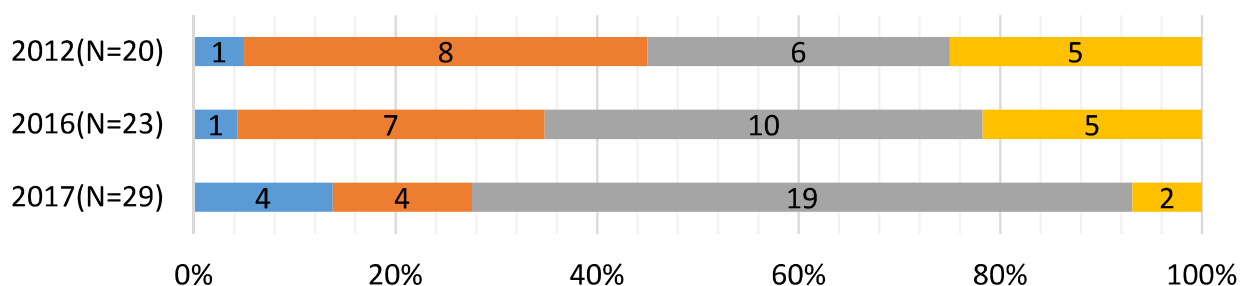
情報センター（情報機器設備を含む）

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



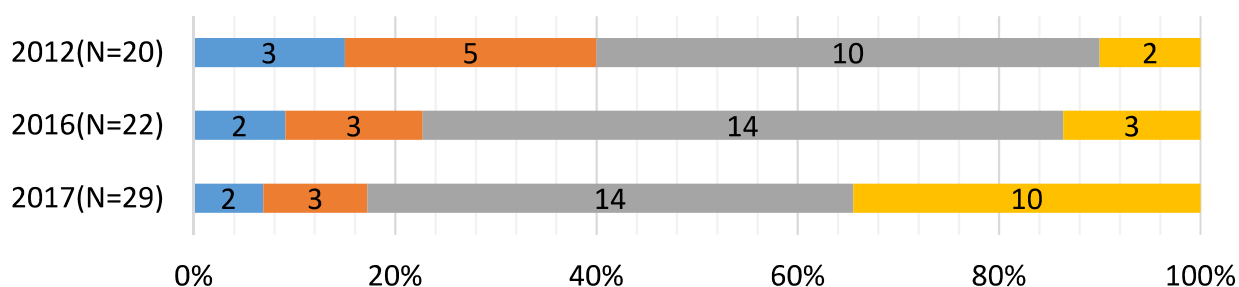
図書館（建物環境、蔵書類）

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



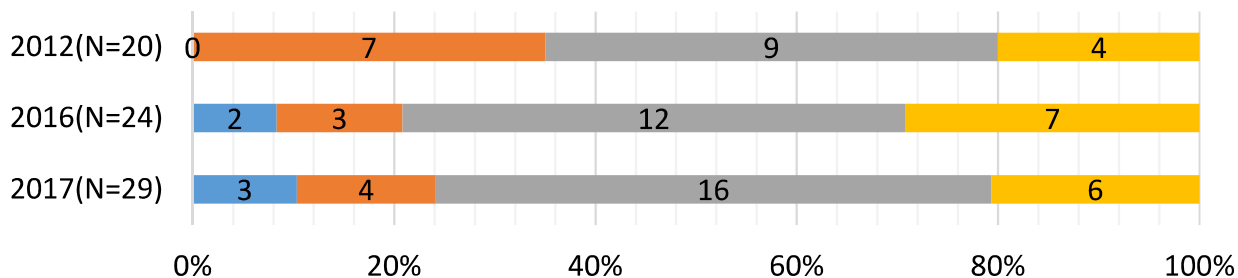
実験棟

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



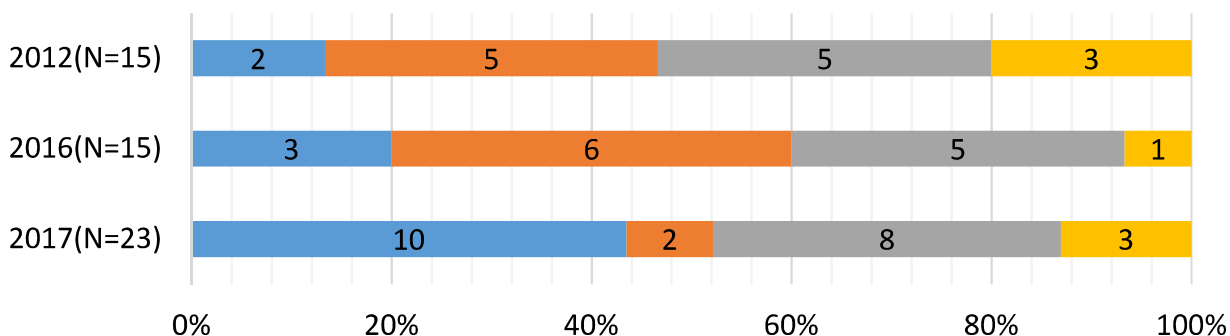
事務局（学生課・教務課・就職課）

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



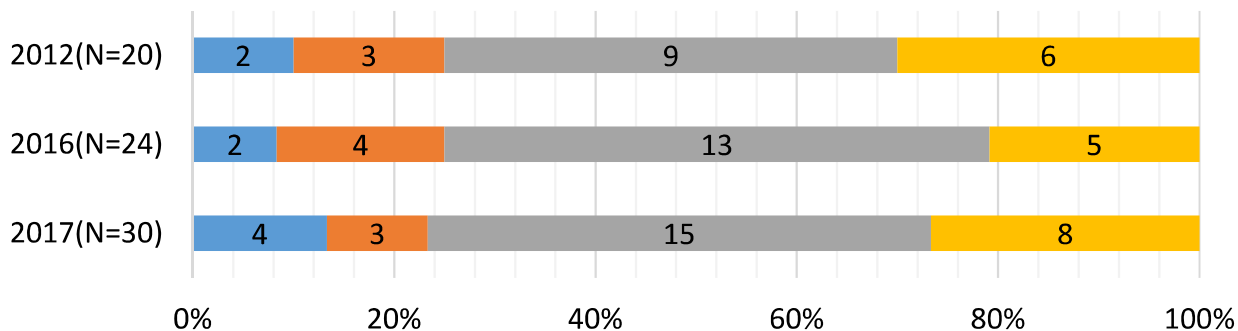
学生寮

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



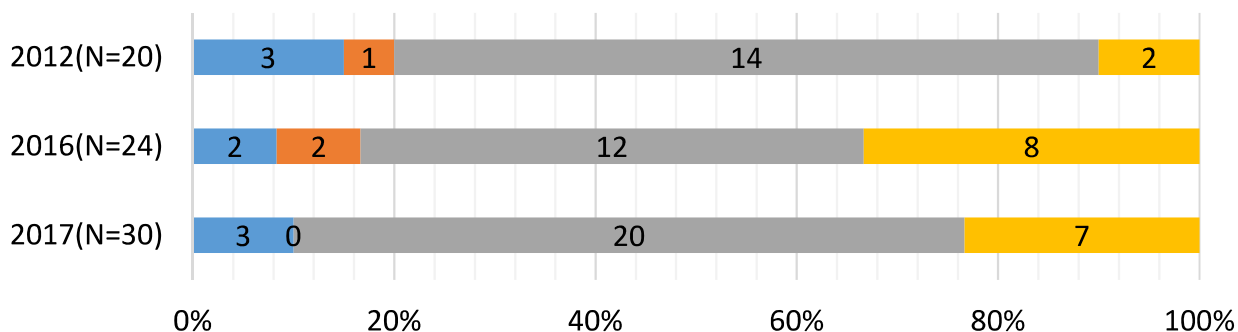
福利厚生施設（学生食堂・喫茶・売店）

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



福利厚生施設（体育館・学生ラウンジ・医務室・トイレ）

■ 1：満足出来なかった ■ 2：あまり満足出来なかった ■ 3：やや満足 ■ 4：満足



9.卒業生の 就職先企業調査

アンケートは郵送にて配布されている。

2019 年度は 161 社に郵送し、回収率は 40.4%であった。2018 年度は 148 社に郵送し、回収率は 91.9%であった。

久留米工業大学
就職先企業に対するアンケート調査

No1

1. 貴社の会社概要についてお伺いいたします。

- (1)所在地：() 都・道・府・県 (ご回答いただく事業所の本社所在地)
 (2)従業員数又は職員数：() 人 (2020 年 3 月末現在)
 (3)資本金：() 円 (企業の方のみお答え下さい。)
 (4)業 種：下記の該当する番号に○印をつけて下さい。

- ①農業・林業 ②漁協 ③鉱業 ④建設業 ⑤製造業 ⑥電気・ガス・熱供給・水道業
 ⑦情報通信業 ⑧運輸業・郵便業 ⑨卸売業・小売業 ⑩金融業・保険業
 ⑪不動産業・物品賃貸業 ⑫学術研究・専門・技術サービス業 ⑬宿泊業・飲食サービス業
 ⑭生活関連サービス業・娯楽業 ⑮教育・学習支援業 ⑯医療・福祉 ⑰複合サービス事業
 ⑱サービス業(他に分類されないもの) ⑲公務 ⑳その他()

- (5)現在の久留米工業大学卒業生の在職者数(大学院修了生を含む) () 人

2. 久留米工業大学卒業生の印象、本学に求めることなどをお伺いいたします。

- (1)採用に当たってどのような点を重視しましたか？

(下記 4 項目の全てについて、各該当する 5～1 の数字に○印をつけて下さい。)

- 《チェック欄》
- | | |
|-------|-----------|
| ①履歴書 | 5・4・3・2・1 |
| ②学力 | 5・4・3・2・1 |
| ③適性検査 | 5・4・3・2・1 |
| ④面接 | 5・4・3・2・1 |

※面接ではどのような点を特に重視されますか。

()

- 5:重視する
 4:どちらかと言えば重視する
 3:一概に言えない
 2:どちらかと言えば重視しない
 1:重視しない

- (2)久留米工業大学卒業生の印象についてお伺いします。

(下記 9 項目の貴社業務に該当する項目について、5～1 の数字に○印をつけて下さい。)

- 《チェック欄》
- | | |
|----------------|-----------|
| ①仕事に対する知識・基礎学力 | 5・4・3・2・1 |
| ②仕事に対する理解・判断力 | 5・4・3・2・1 |
| ③仕事に対する職務遂行能力 | 5・4・3・2・1 |
| ④対人関係・仕事の協調性 | 5・4・3・2・1 |
| ⑤コミュニケーション能力 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥責任感・粘り強さ・誠実性 | 5・4・3・2・1 |
| ⑦外国語(英語など)の能力 | 5・4・3・2・1 |
| ⑧パソコン操作等の能力 | 5・4・3・2・1 |
| ⑨情報通信技術の活用能力 | 5・4・3・2・1 |

- 5:優れている
 4:どちらかと言えば、やや優れている
 3:普通
 2:どちらかと言えば、やや劣る
 1:劣る

※ご意見があればご記入願います (特に上記にて、評価 2・1 の場合、具体的な問題があればご記入下さい。)

3. 本学の教育について求めるものをお伺いいたします。

- (1)今後どの分野の学力を充実するのが望ましいと思われますか？ (3つまで○印をつけて下さい)

《チェック欄》

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ①深い専門的学力 | ⑤自然系学力(数学・物理学など) |
| ②幅広い基礎的学力 | ⑥技能系学力(情報処理・外国語) |
| ③文科系学力(哲学・文学など) | ⑦幅広い教養(国際・情報・環境・人間等) |
| ④社会系学力(会計学・経営学など) | ⑧その他() |

(2) 学生生活を通じた人間形成について、本学はどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか？

(3つまで○印をつけて下さい)

- ①部活・サークル活動（入塾・入会中心に）
- ②部活・サークル活動（文化・研究を中心に）
- ③クラス担任制度
- ④研究室・ゼミナールの活動
- ⑤キャリア教育

- ⑥インターンシップ
- ⑦ボランティア活動
- ⑧地域貢献活動
- ⑨海外留学
- ⑩アルバイト
- ⑪その他（ ）

4. 今年度並びに来年度の採用活動についてお伺いします。(該当する番号に○印をご記入ください)

(1) 現段階で採用計画の見直し等をお考えですか。

- ①当初の採用計画通り ②採用計画の見直しを検討 ③採用活動を中止 ④未定

(2) 来年度の採用計画について検討されていますか。

- ①今年度と同じ採用数を計画 ②採用数の見直しを検討 ③採用活動を中止 ④未定

5. 本学に対するご意見、ご要望等ございましたらご自由にお書きください。

業務ご多忙の折、アンケートへのご協力ありがとうございました。
今後の本学の教育・就職指導等に役立てたいと存じます。

返信期日：6月26日（金）までにご返信ください。

返信先：久留米工業大学就職課 キャリアサポートセンター宛

Fax : 0942-65-3482

《問合せ先》

T830-0052

福岡県久留米市上津町 2228-66

久留米工業大学 就職課 キャリアサポートセンター

TEL:0942-22-2272 FAX:0942-65-3482

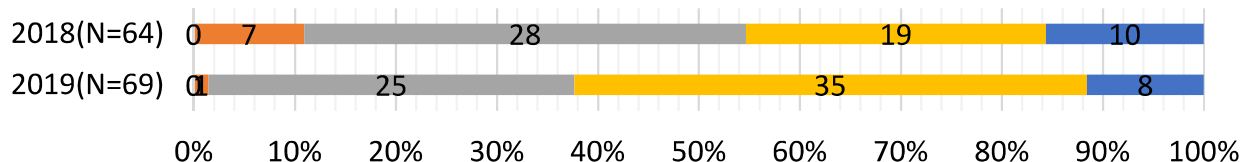
E-mail:shushoku@kurume-it.ac.jp

本学卒業生の企業からの印象は「協調性」「コミュニケーション能力」「責任感・粘り強さ・誠実性」といった項目において例年「優れている」との評価が多い様子である。

採用に当たってどのような点を重視しましたか？

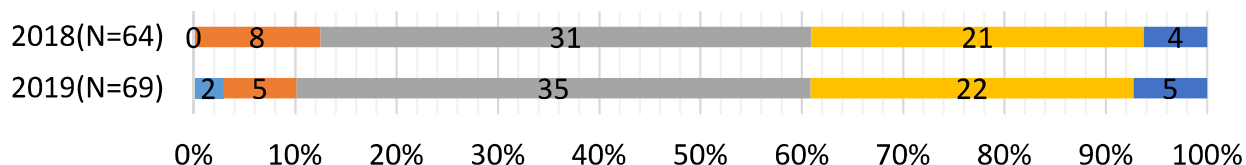
①履歴書

- 1:重視しない
- 2:どちらかと言えば重視しない
- 3:一概に言えない
- 4:どちらかと言えば重視する
- 5:重視する



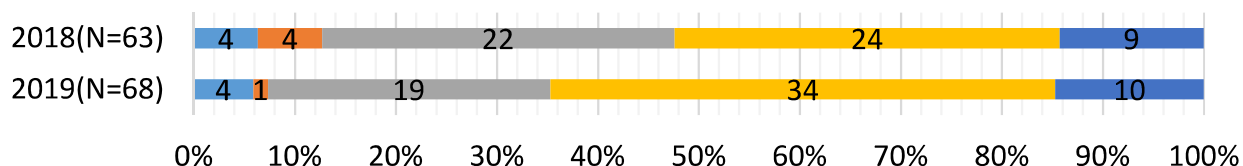
②学力

- 1:重視しない
- 2:どちらかと言えば重視しない
- 3:一概に言えない
- 4:どちらかと言えば重視する
- 5:重視する



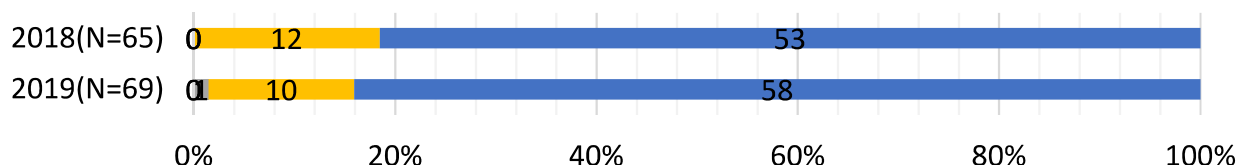
③適性検査

- 1:重視しない
- 2:どちらかと言えば重視しない
- 3:一概に言えない
- 4:どちらかと言えば重視する
- 5:重視する



④面接

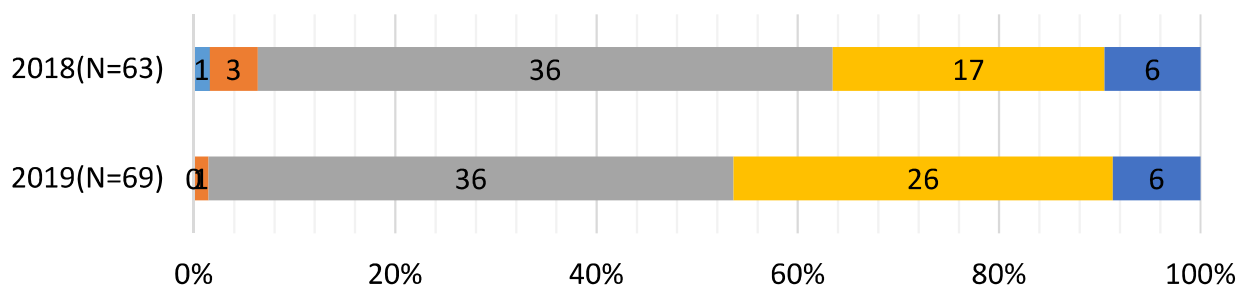
- 1:重視しない
- 2:どちらかと言えば重視しない
- 3:一概に言えない
- 4:どちらかと言えば重視する
- 5:重視する



久留米工業大学卒業生の印象についてお伺いします。

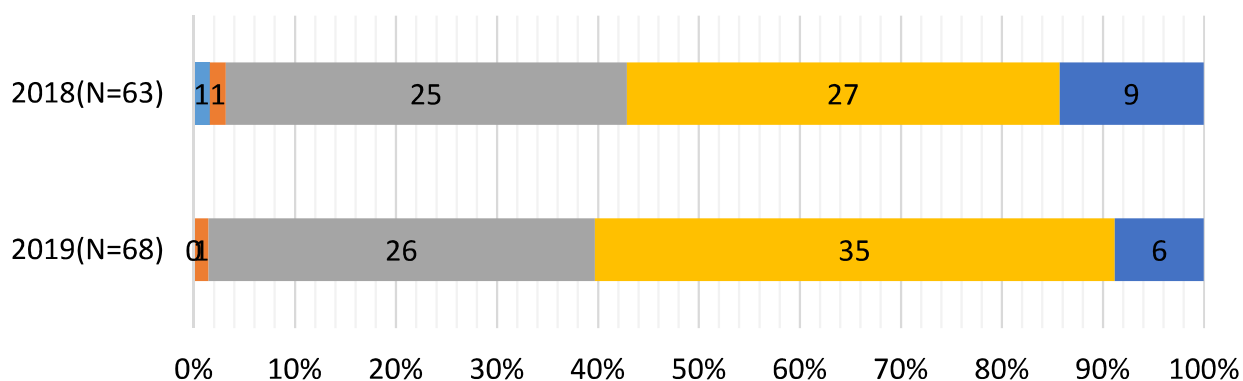
①仕事に対する知識・基礎学力

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



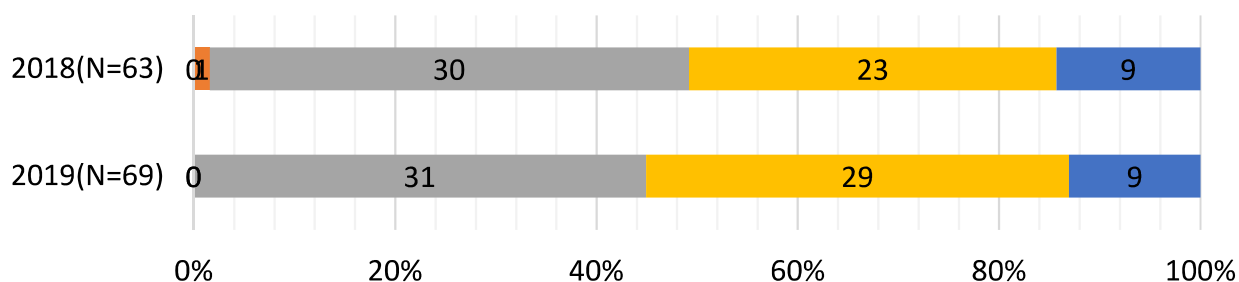
②仕事に対する理解・判断力

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



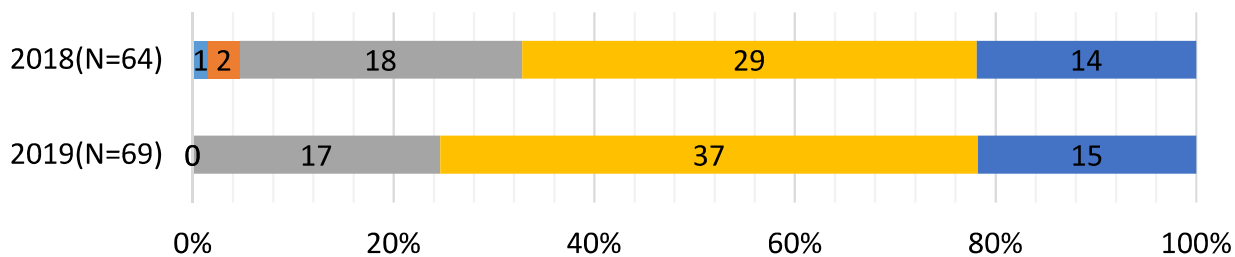
③仕事に対する職務遂行能力

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



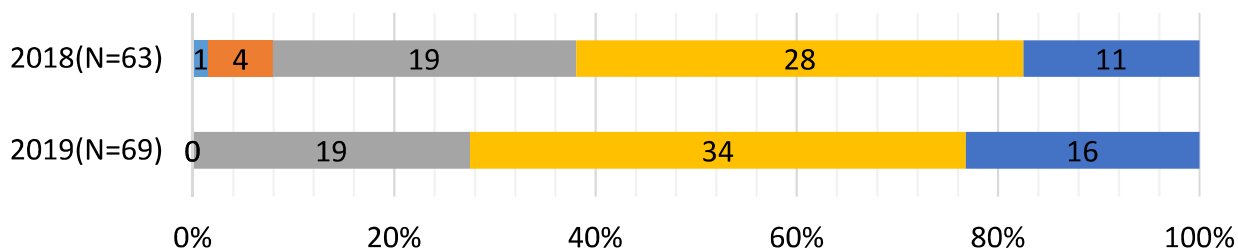
④対人関係・仕事の協調性

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



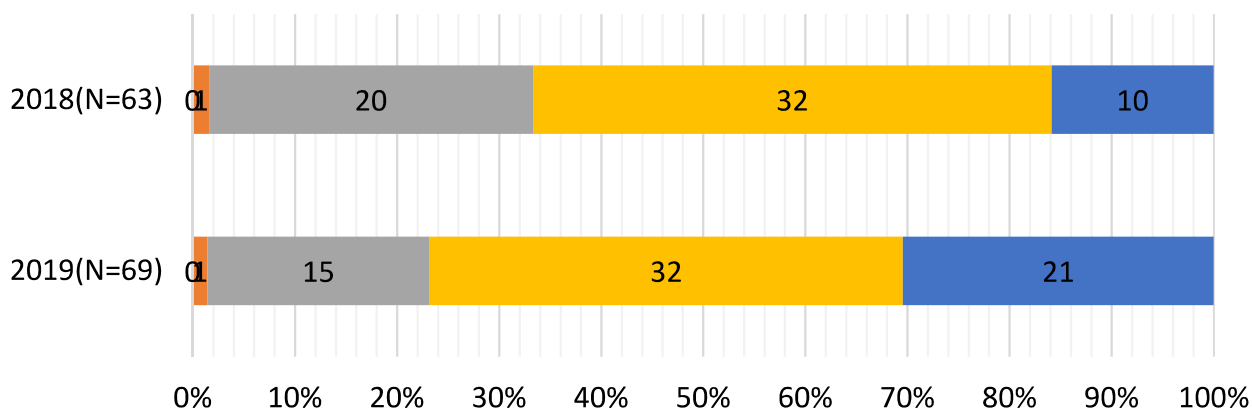
⑤コミュニケーション能力

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



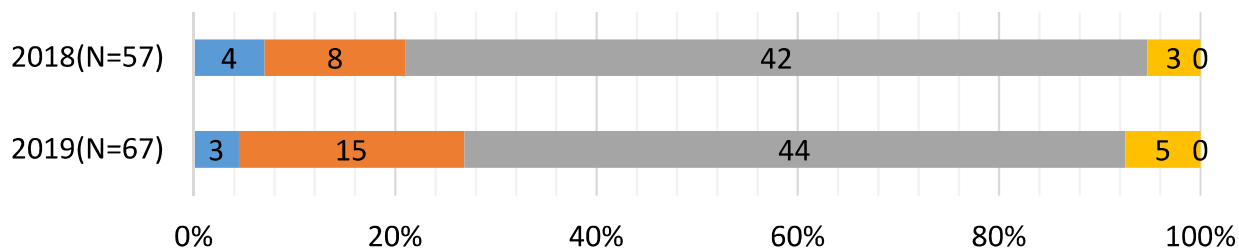
⑥責任感・粘り強さ・誠実性

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



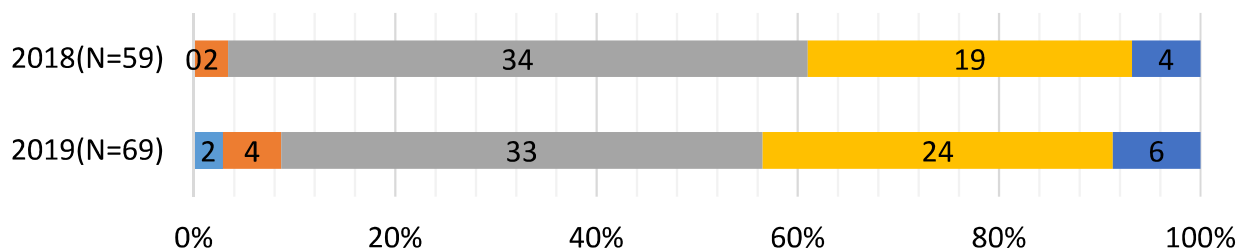
⑦外国語（英語など）の能力

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



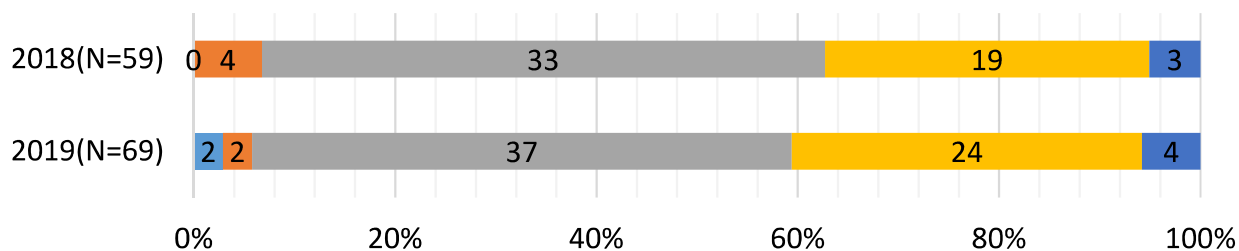
⑧パソコン操作等の能力

- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



⑨情報通信技術の活用能力

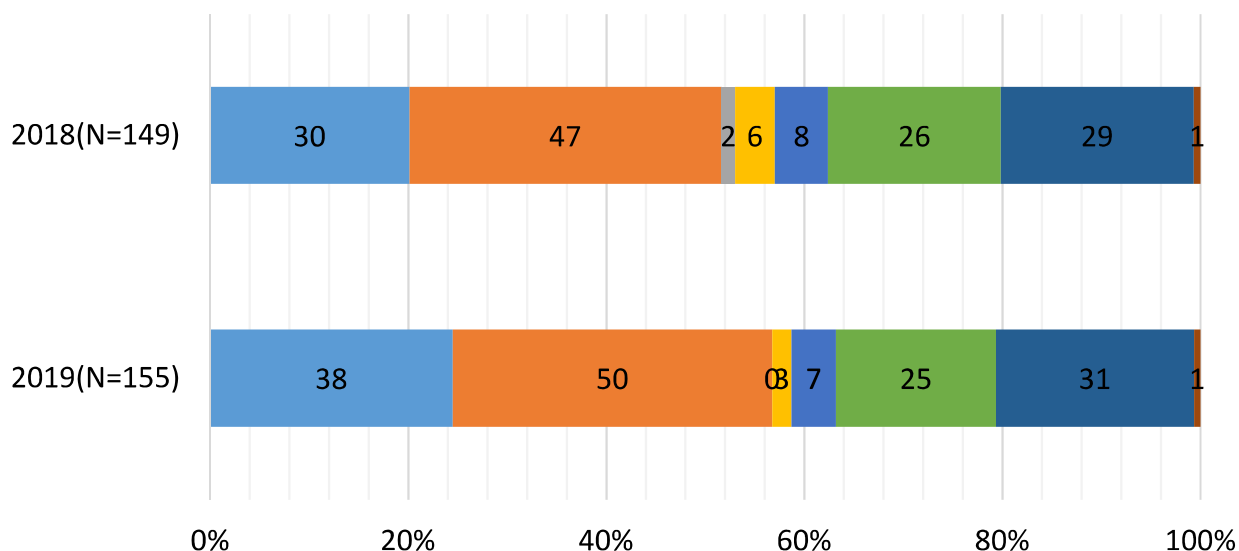
- 1.劣る
- 2.どちらかと言えば、やや劣る
- 3.普通
- 4.どちらかと言えば、やや優れている
- 5.優れている



3. 本学の教育について求めるものをお伺いいたします。

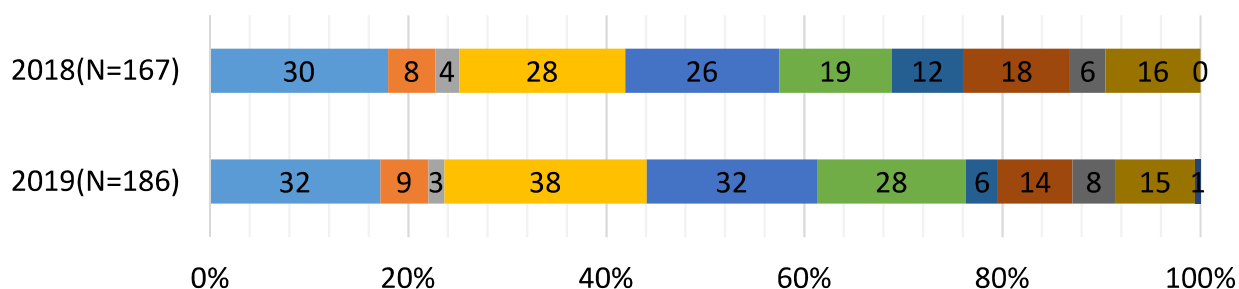
今後どの分野の学力を充実するのが望ましいと思われますか？

- ①深い
専門的学力
- ②幅広い
基礎的学力
- ③文科系学力
(哲学・文学等)
- ④社会的学力
(会計学・経営学等)
- ⑤自然系学力
(数学・物理学等)
- ⑥技能系学力
(情報処理・外国語)
- ⑦幅広い教養
(国際・情報・
環境・人間等)
- ⑧その他



学生生活を通じた人間形成について、本学はどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか？

- ①部活・サークル活動
(スポーツ中心)
- ②部活・サークル活動
(文化・研究)
- ③クラス担任
- ④研究室・ゼミナールの活動
- ⑤キャリア教育
制度
- ⑥インターンシップ
- ⑦ボランティア活動
- ⑧地域貢献活動
- ⑨海外留学
- ⑩アルバイト
- ⑪その他





久留米工業大学

KURUME INSTITUTE OF TECHNOLOGY